

No. 10

経済技術協力国別資料シリーズ

ガーナ

REPUBLIC OF GHANA

1984年3月

国際協力事業団
企画部地域課

512
36
PLC

地 域

84-6

国際協力事業団

受入
月日 '84. 8. 29

5/2

登録No. 10629

36

PLC

作成にあたって

この経済技術協力国別資料シリーズは、我が国を始め、主要援助供与諸国及び国際機関が、技術協力、経済協力として1981年以後実施済の、あるいは実施中のプロジェクトを調査しまとめたものです。

それぞれの被援助国に対し、各援助供与国及び各援助機関が、どのような方針に基づいて援助を実施してきたかを明らかにしようと試みました。また、被援助国側が各援助供与国や国際機関別にどのような援助のあり方を期待しているかを探り、ひいては我が国の援助の方向性を考える目的の下に本シリーズを作成しました。

作成にあたっては、外務省、海外経済協力基金、JICA 海外事務所、専門家等の大勢の方々の御協力を得ました。ここに、本シリーズ作成に御協力下さった皆様に改めて謝意を申し上げますと共に、本誌が関係各位の業務の一助になることを願って止みません。

昭和59年3月

国際協力事業団

企画部長

堀内 伸介

JICA LIBRARY



1033420〔9〕

● 國際機關名稱

- AfDB - African Development Bank
- AsDB - Asian Development Bank
- EEC - European Economic Community
- FAO - Food and Agriculture Organization
- IBRD - International Bank for Reconstruction and Development
- IDA - International Development Association
- IEA - International Energy Agency
- IFAD - International Fund for Agricultural Development
- ILO - International Labour Organization
- ITC - International Trade Centre
- ITU - International Telecommunication Union
- OECD - Organization for Economic Cooperation and Development
- OPEC - Organization of Petroleum Exporting Countries
- UNCTAD - United Nations Conference on Trade and Development
- UNDTCD - United Nations Department of Technical Cooperation for Development
- UNDP - United Nations Development Program
- UNESCO - United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
- UNFPA - United Nations Fund for Population Activities
- UNHCR - Office of the United Nations High Commissioner for Refugees
- UNICEF - United Nations Children's Fund
- UNIDO - United Nations Industrial Development Organization
- WFP - World Food Program
- WHO - World Health Organization
- WMO - World Meteorological Organization

「ガーナ」に対する 経済・技術協力の概要

目 次

1 経済・社会開発計画概要

- 1-1 対象国の概要/1
- 1-2 開発計画概要/3
- 1-3 国家予算/4

2 経済・技術協力の推移

- 2-1 1970年代における援助実績の推移/5
- 2-2 最近の動向(1981, 1982年実績)/5

3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

- 3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴/9
- 3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要/16

4 我が国の経済・技術協力実施状況

- 4-1 我が国の援助の特徴/26
- 4-2 分野別経済・技術協力実施状況/29

● 國際機關名略稱

- AfDB - African Development Bank
- AsDB - Asian Development Bank
- EEC - European Economic Community
- FAO - Food and Agriculture Organization
- IBRD - International Bank for Reconstruction and Development
- IDA - International Development Association
- IEA - International Energy Agency
- IFAD - International Fund for Agricultural Development
- ILO - International Labour Organization
- ITC - International Trade Centre
- ITU - International Telecommunication Union
- OECD - Organization for Economic Cooperation and Development
- OPEC - Organization of Petroleum Exporting Countries
- UNCTAD - United Nations Conference on Trade and Development
- UNDTCD - United Nations Department of Technical Cooperation for Development
- UNDP - United Nations Development Program
- UNESCO - United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
- UNFPA - United Nations Fund for Population Activities
- UNHCR - Office of the United Nations High Commissioner for Refugees
- UNICEF - United Nations Children's Fund
- UNIDO - United Nations Industrial Development Organization
- WFP - World Food Program
- WHO - World Health Organization
- WMO - World Meteorological Organization

「ガーナ」に対する 経済・技術協力の概要

目次

1 経済・社会開発計画概要

- 1-1 対象国の概要/1
- 1-2 開発計画概要/3
- 1-3 国家予算/4

2 経済・技術協力の推移

- 2-1 1970年代における援助実績の推移/5
- 2-2 最近の動向(1981, 1982年実績)/5

3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

- 3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴/9
- 3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要/16

4 我が国の経済・技術協力実施状況

- 4-1 我が国の援助の特徴/26
- 4-2 分野別経済・技術協力実施状況/29

1 経済・社会開発計画概要



1-1 ガーナの概要

- 面積 238.5千km² (日本の約3分の2)
- 人口 (1982年) 12.2百万人
- 政体 英連邦加盟の共和国
元首: ジェリー・ローリングス暫定国防評議会議長
- 宗教 キリスト教 (52%), 伝統的部族信仰 (21%), イスラム教 (北部を中心に13%) など。
- 言語 公用語として英語。
部族語はファンテ, トバイ, ガ, エバ, ハウサ, アジャンティ, ソジマなど。
- 部族 アカン諸語族 (1960年国勢調査で全人口の44%)。その他エウ族, アルブルー族, ガ族, モン族など, 部族数は50~60。
- 教育 小学校は義務制。大学はガーナ大, 科学技術大, ケープ・コースト大の3大学。識字率は30.2%。(1970年)
- 貿易 (1981年) 輸出 878百万ドル
アメリカ, イギリス, 西ドイツ, 日本, ソ連, カナダ
輸入 1,184百万ドル
イギリス, アメリカ, 西ドイツ, ナイジェリア, イタリア, オランダ
- 通貨準備高 (1981年) 271百万ドル
- G N P (1981年) 21,190百万ドル (400ドル/人)
- 援助の要請 大蔵経済企画省が, 援助要請の取りまとめを行う。日本に対しては, さらに外務省が窓口となる。
無償資金協力, 技術協力: 援助要請案件の主務官庁が直接援助要請を行うことが多い。大蔵経済企画省に対しては要請内容が通報され, 閣議決定は不要。
有償資金協力: 通常, 閣議決定後大蔵経済企画省を通じて援助要請がなされる。

ガーナの国名は3世紀から13世紀まで栄えた古代のガーナ王国に由来する。海岸線から中央部の高地に広がる降雨量にめぐまれた農耕地帯と森林帯はココアの生産地域であり, Kwa 語群に属するAKAN語グループ (アジャンティ, アキム, アクワピン, アハント, ソジマ, ファンティ) の社会圏となっている。森林帯は樹高50米におよぶ資源を有し, かつてギニア湾岸の材林業の中心となっている。

ガーナは1957年に独立, 1960年に共和制を採用し, エンクルマ大統領に率いられ開発が進められた。しかし, 政治的, 経済的ゆきづまりから1966年エンクルマ政権は軍事クーデターにより倒れ, それ以降, 数度のクーデターと民政移管が繰返され, 不安定な政治状況にあった。

1981年12月にローリングス軍革命評議会 (AFRC) 議長がクーデターで政権を奪取し, 暫定国防評議会 (PNDC) を組織し, 翌1982年1月新内閣を発足させた。しかし, その後も経済困難, 政情不安定が続き, 1982年から1983年にかけてクーデター未遂事件が相次いだ。

ガーナの経済状態は, 永年の政治的混乱, 1974年以来の干ばつ, 流通機構未整備などから危機的状況にある。主要産品であるココア, 主要輸出品である金が大幅に減産しており, 政府は1981年に金産業再建策を発表した。

図-1 ガーナの概要図

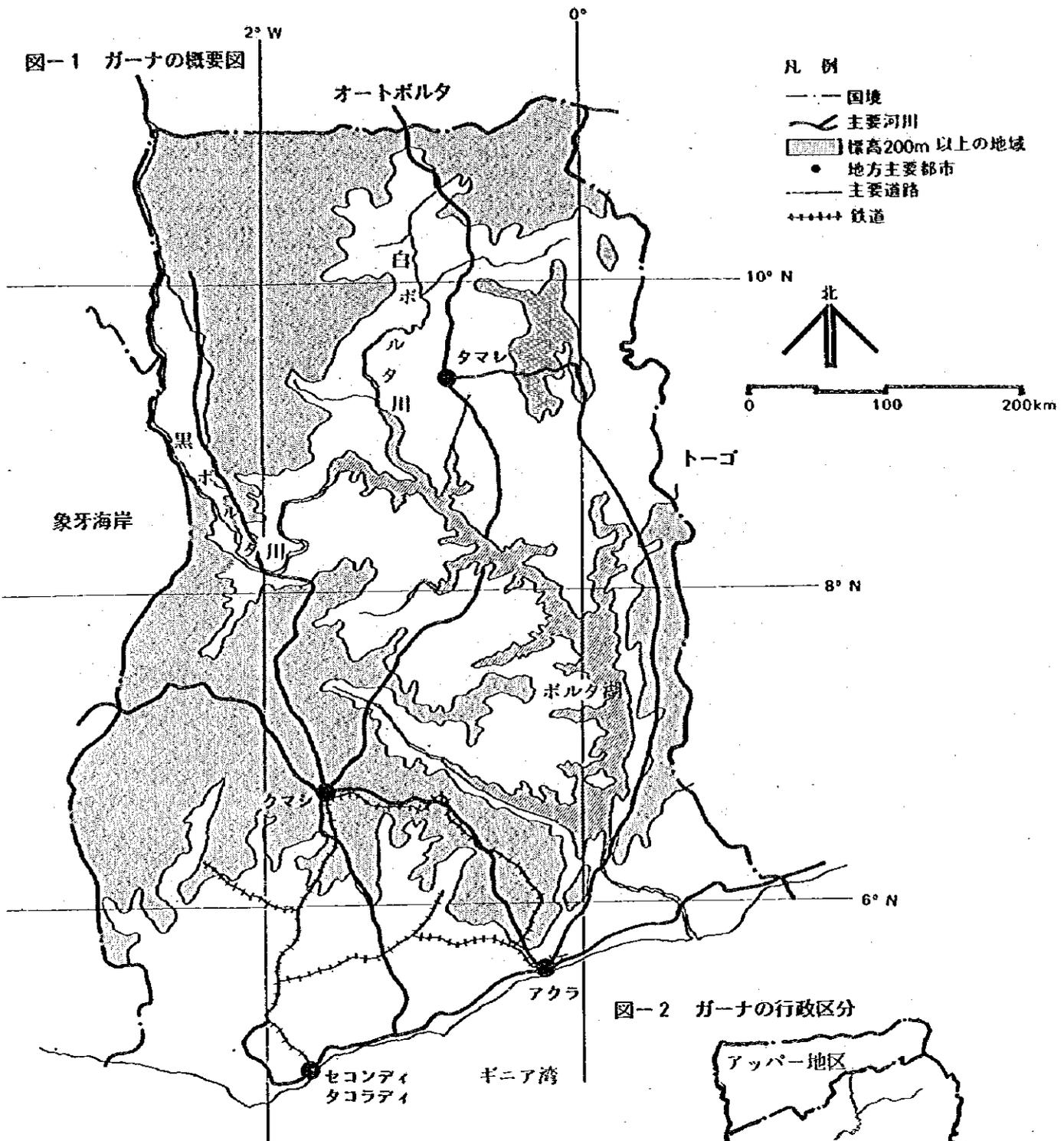
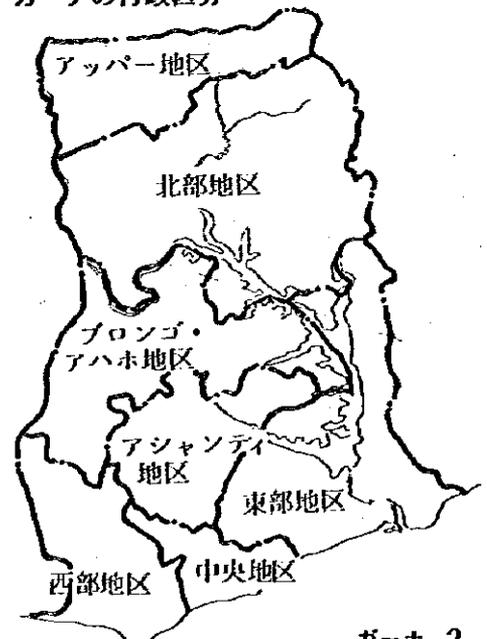
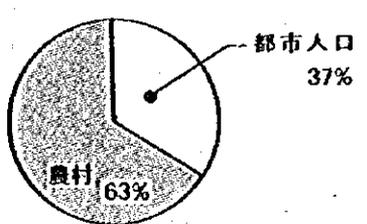


図-2 ガーナの行政区分



都市化(1981)



(出典：世界開発報告/世銀1983)

1-2 開発計画概要

1-2-1 既往の開発計画

- 第1次5カ年計画 (1952~1957)
- 第2次5カ年計画 (1959~1964)
- 7カ年計画 (1963/64~1969/70)
- 2カ年計画 (1968, 1970)
- 2カ年計画 (1972~1974)
- 5カ年経済開発計画 (1975/76~1979/80)

第1次5カ年計画はインフラの開発に寄与したが、工業・農業の育成発展を目指した第2次5カ年計画は、資金調達で行き詰まった。それに続く7カ年計画も投資総額10億英ポンドを投入し、年率5.5%成長を目指したが、この計画も資金面で行き詰まり、途中で中止となった。1968年から1970年にかけての2カ年計画は、先の7カ年計画の中止により新しく策定されたものである。その後1972年に国家救済会議(NRC)による軍事政権成立後、経済自立を目指した新しい2カ年計画が立案された。

5カ年経済開発計画では、期間中の国内総生産の年平均伸び率を5%と設定し、経済自立の達成のため生産性の向上、国際収支の改善、および物価の安定を目指し、農業開発に重点を置いたものであった。しかし、1978年7月、1979年6月の相次ぐクーデターの発生で計画倒れに終わってしまった。

1-2-2 現行の開発計画：経済再建2カ年計画 (1979/80~1981/82)

<目標および重点政策>

- ① 財政収支の均衡を回復し、現行インフラ再建に対し、より多くの支出がなされるよう歳出を再編成する。
- ② 経済に適切な刺激策と価格決定策を導入し、より多くの資源が生産部門に移動するよう政府は金融を補完する。
- ③ このようにして、地域開発計画実施のための基礎づくりを行う。

1-3 国家予算

1982年度中央政府の歳入歳出および1983年歳入歳出予算は次のようになっており、1983年の歳入見込みは、前年と比較して約4倍となり、5年ぶりの黒字となった。

表-1 財政収支 (1982, 1983年)

	1982年 (百万セディ)	1983年 (百万セディ)
所得税および資産税	1,502.3	2,241.1
貿易に関する課税	789.4	11,182.1
国内消費およびサービス	1,676.4	3,699.8
税外収入	622.4	800.0
贈与受け取り	52.0	245.3
歳入(合計)	4,642.5	18,168.3
歳出(合計)	9,220.1	15,358.3
収支バランス	△4,577.6	2,810.0

1983年度国家予算の実現を図るため、輸出奨励、輸入抑制、石油製品の値上げ等の対策を打ち出した。

しかし、このような対策も、経済苦況から脱出するほど実効はあがっておらず、欧米先進国、あるいは産油国リビア(82年以降)による経済援助で、なんとか切り抜けているのが現状である。

2 経済・技術協力の推移

2-1 1970年代における援助実績の推移

ガーナに対する政府開発援助活動の概要は次のとおりである。

- (1) ガーナに対する政府開発援助活動をその援助額でみると、純額ベースのODA総額で、1970年前半は、約60百万ドルから40百万ドルへと漸減していたが、1975年には一挙に125.7百万ドルへと増額された。翌1976年には再び64百万ドルに減少したが、その後は増加が続き、1979年には168.9百万ドルと1975年の水準を上回り、1980年には191.6百万ドルに達した。1980年のODA純額は、1980/81年度の中央政府予算歳出額10億2,760万セディ（約370百万ドル）の51.8%に相当している。
- (2) 二国間、多国間援助の別では、1970年代前半は二国間援助の比率が高かったが、1976年以降多国間援助の比率が高まってきた。1970年代前半における、二国間援助の比率は、1974年に73%、その他の年は、80~90%台で、多国間援助に比べ圧倒的に多かった。しかし、1976~80年にかけては、二国間援助は50%台となっている。
また、1978年以降、OPEC諸国からの援助が実施され、その比率は、78年~81年で、ODA総額の10~16%を占めている。（図-3）
- (3) ガーナに対する援助活動を、贈与、借款の形態別の比率でみると、各年次で大きく変動しており、贈与の比率は、25%~81%の範囲である。また、70年代以降の技術協力による援助額は、各年次で贈与額の50%以上を占めている。（図-4）
- (4) ガーナに対する主要援助国、国際機関は1970年代を通じ、西ドイツ、アメリカ、カナダ、イギリスの順で、次いで、IDA、IMF、UNグループ、OPEC諸国となっている。上位4カ国の援助額の、ガーナに対するODA総額に占めるシェアは、1971~80年の累計で54%、70年代前半だけについてみると、約70%に達している。また、この4カ国の1981年ODA総額に対するシェアは52%であったが、82年には40%となっており、援助国、援助機関が多様化する傾向を示している。（図-5）

2-2 最近の動向

1981、82年の援助動向を図-6および表-2、3に示す。ODA総額は、1980年をピークに減少の傾向を示している。二国間・多国間援助の比率は、70年代後半と同様、ほぼ1:1で推移しているが、近年、EEC、IDAなど、国際機関の援助が増加を示し、多国間援助の比率が増える傾向にある。特に、82年には、主要援助国の、西ドイツ、アメリカ、イギリスの援助額が減少しており、EECによる援助が39.4百万ドルで第1位となっている。また、OPEC諸国からの援助は1981年までは、ODA総額の10%~16%であったが、82年には、2%に落ちている。

援助形態別では、贈与と借款の比率はほぼ1:1である。また贈与の内訳では、1981年、82年で、それぞれ56%、54%が技術援助となっている。

ガーナに対する政府開発援助（ODA）額の経年推移（1971～1982年）

図-3 援助主体別ODA推移
援助額（百万ドル）

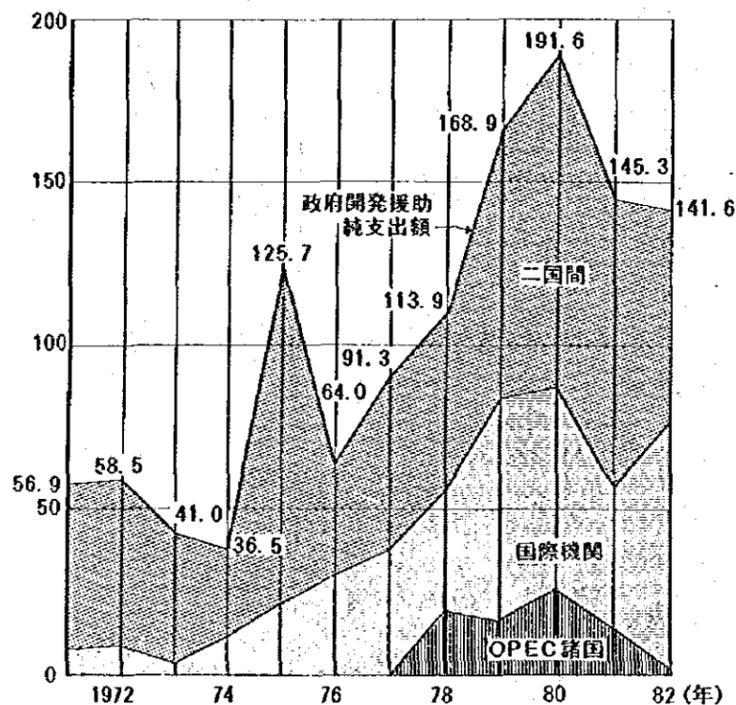
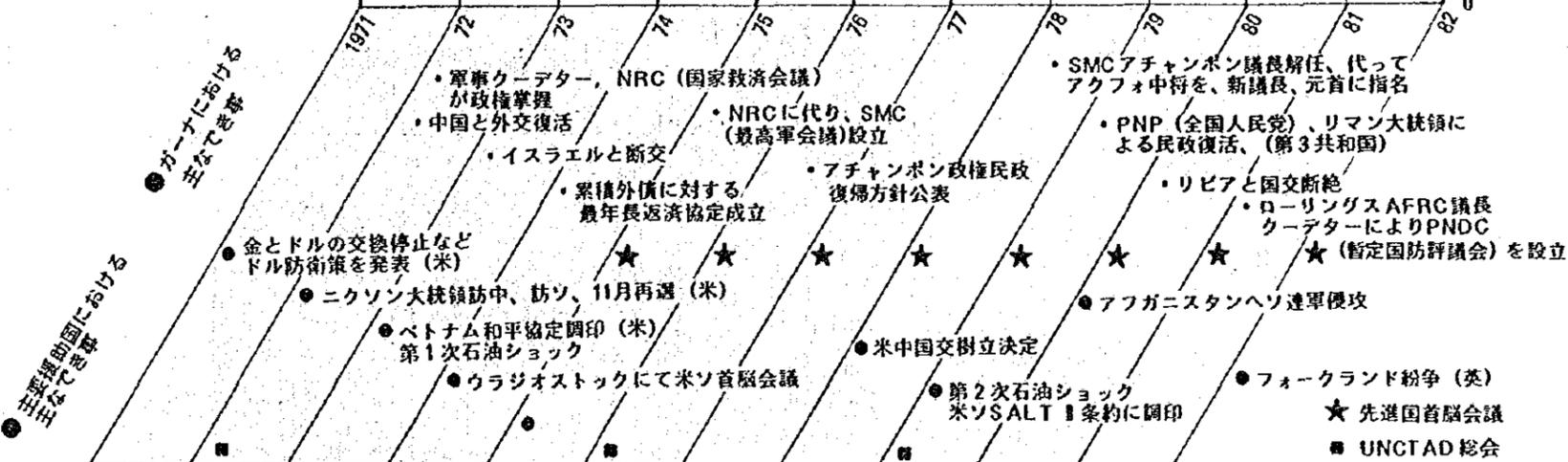
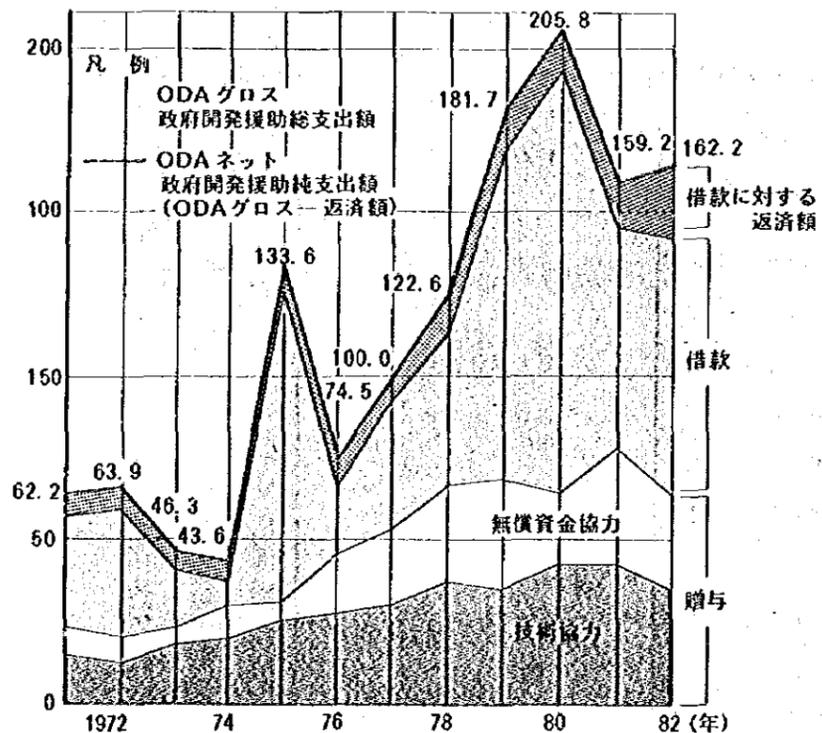


図-5 主要援助国・国際機関別ODA推移
〈政府開発援助（ODA）純支出額ベース〉
単位：百万ドル

主要援助国、機関別の推移をみると、1973年まではアメリカの援助が多く、ODA総額の30%前後を占め、75年には西ドイツの援助額が突出が目立つ。76、77年にはIDAが第1位であったが78年以降は毎年、第1位が入れ替わっている。これらの中では、カナダが、70年代初めから、コンスタントな援助を続けており、また近年、EECの援助が、安定した増加傾向を示している。



図-4 援助形態別ODA推移
援助額（百万ドル）



（出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1978,82,84）

図-6 主要援助国・国際機関による対ガーナ政府開発援助（ODA）の実績

1981年（昭和56年）

総額 145.3 百万ドル	二国間 87.4 百万ドル (60.2%)	・西ドイツ 32.8 (22.6%)
		・アメリカ 22.0 (15.1)
		・イギリス 13.3 (9.2)
		・カナダ 7.9 (5.4)
		・日本 5.3 (3.6)
		・その他 6.1 (4.2)
国際機関 43.6 百万ドル (30.0%)	・EEC 16.4 (11.3)	
	・IDA 11.5 (7.9)	
	・その他 15.7 (10.8)	
OPEC諸国 14.3 百万ドル (9.8%)		

技術協力 百万ドル 42.3 (25.6%)	無償資金協力 百万ドル 33.7 (20.4%)	借 款 百万ドル 89.2 (54.0%)
14.1 (33.3%)	2.5 (7.6%)	16.2 (49.4%)
6.1 (27.3)	9.0 (40.9)	7.0 (31.8)
5.0 (37.6)	8.3 (62.4)	
1.0 (12.7)	2.9 (36.7)	4.0 (50.6)
2.8 (52.8)		2.5 (47.2)
5.6 (81.8)		0.8 (13.1)
7.8 (17.9)	16.0 (36.7)	9.8 (45.4)
14.3 (100.0%)		

技術協力	無償資金協力	借 款
西ドイツ 33.3%	西ドイツ 7.4%	西ドイツ 23.4%
アメリカ 14.2	アメリカ 26.7	アメリカ 10.1
イギリス 11.8	カナダ 8.6	イギリス 12.0
カナダ 2.4	日本 7.4	カナダ 5.8
日本 6.6	その他 2.4	国際機関 28.6
その他 13.2	国際機関 47.5	
国際機関 18.4		OPEC諸国 20.6

1982年（昭和57年）

総額 141.6 百万ドル	二国間 65.5 百万ドル (46.3%)	・西ドイツ 28.1 (19.8%)
		・アメリカ 11.0 (7.8)
		・イギリス 8.8 (6.2)
		・カナダ 8.4 (5.9)
		・日本 5.2 (3.7)
		・その他 4.0 (2.8)
国際機関 73.1 百万ドル (51.6%)	・EEC 39.4 (27.8)	
	・IDA 14.1 (10.0)	
	・その他 19.6 (13.8)	
OPEC諸国 3.0 百万ドル (2.1%)		

技術協力 百万ドル 34.6 (24.5%)	無償資金協力 百万ドル 29.8 (21.1%)	借 款 百万ドル 77.1 (54.4%)
9.8 (34.9%)	3.7 (13.2%)	14.6 (62.0%)
5.0 (45.5)		5.0 (45.5)
4.3 (48.9)		4.5 (61.1)
0.6 (7.1)	3.9 (46.4)	3.9 (46.4)
	2.6 (50.0)	2.6 (50.0)
4.6 (115.0)		1.0 (25.6)
7.7 (10.5)	13.7 (18.7)	51.8 (70.8)
34.6 (100.0%)		

技術協力	無償資金協力	借 款
西ドイツ 28.3%	西ドイツ 12.4%	西ドイツ 18.9%
アメリカ 14.5	アメリカ 16.7	アメリカ 1.3
イギリス 12.4	カナダ 13.0	イギリス 6.8
カナダ 1.7	日本 8.7	カナダ 5.1
日本 7.5	その他 3.3	国際機関 67.2
その他 13.3	国際機関 45.8	
国際機関 22.3		OPEC諸国 3.8

(出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1978, 82, 84)

表-2 1981年対ガーナ政府開発援助 (ODA) 実績総括表

援 機	助 国 関	技 術 協 力		無 償 資 金 協 力		借 款		政 府 開 発 援 助 総 額	
		金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)
二 国 間 援 助	西ドイツ	14.1	(33.3)	2.5	(7.4)	16.2	(23.4)	32.8	(22.6)
	アメリカ	6.1	(14.2)	9.0	(26.7)	7.0	(10.1)	22.0	(15.1)
	イギリス	5.0	(11.8)	—	(—)	8.3	(12.0)	13.3	(9.2)
	カナダ	1.0	(2.4)	2.9	(8.6)	4.0	(5.8)	7.9	(5.4)
	日 本	2.8	(6.6)	2.5	(7.4)	—	(—)	5.3	(3.6)
	そ の 他	5.6	(13.2)	0.8	(2.4)	-0.3	(-0.4)	6.1	(4.2)
	(小計)	34.5	(81.6)	17.7	(52.5)	35.2	(50.8)	87.4	(60.2)
国 際 機 関	E E C	—	(—)	—	(—)	—	(—)	16.4	(11.3)
	I D A	—	(—)	—	(—)	—	(—)	11.5	(7.9)
	そ の 他	—	(—)	—	(—)	—	(—)	15.7	(10.8)
	(小計)	7.8	(18.4)	16.0	(47.5)	19.8	(28.6)	43.6	(30.0)
O P E C 諸 国	—	(—)	—	(—)	14.3	(20.6)	14.3	(9.8)	
合 計	42.3	(100.0)	33.7	(100.0)	89.2	(100.0)	145.3	(100.0)	

表-3 1982年対ガーナ政府開発援助 (ODA) 実績総括表

援 機	助 国 関	技 術 協 力		無 償 資 金 協 力		借 款		政 府 開 発 援 助 総 額	
		金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)	金 額 (百万ドル)	全体比 (%)
二 国 間 援 助	西ドイツ	9.8	(28.3)	3.7	(12.4)	14.6	(18.9)	28.1	(19.8)
	アメリカ	5.0	(14.5)	5.0	(16.7)	1.0	(1.3)	11.0	(7.8)
	イギリス	4.3	(12.4)	—	(—)	4.5	(5.8)	8.8	(6.2)
	カナダ	0.6	(1.7)	3.9	(13.0)	3.9	(5.1)	8.4	(5.9)
	日 本	2.6	(7.5)	2.6	(8.7)	—	(—)	5.2	(3.7)
	そ の 他	4.6	(13.3)	1.0	(3.3)	-1.6	(-2.1)	4.0	(2.8)
	(小計)	26.9	(77.7)	16.2	(54.2)	22.4	(29.1)	65.5	(46.3)
国 際 機 関	E E C	—	(—)	—	(—)	—	(—)	39.4	(27.8)
	I D A	—	(—)	—	(—)	—	(—)	14.1	(10.0)
	そ の 他	—	(—)	—	(—)	—	(—)	19.6	(13.8)
	(小計)	7.7	(22.3)	13.7	(45.8)	51.8	(67.2)	73.1	(51.6)
O P E C 諸 国	—	(—)	—	(—)	2.9	(3.8)	3.0	(2.1)	
合 計	34.6	(100.0)	29.8	(100.0)	77.1	(100.0)	141.6	(100.0)	

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。

3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴

無償（贈与）有償（借款）の援助形態別に各国、国際機関の占める割合を図-7に示す。

- (1) 贈与における援助国は多様化しており、西ドイツ、アメリカ、次いでカナダ、イギリスなどが、70年代初めから、継続的に援助を実施している。特に西ドイツ、アメリカ両国のシェアは贈与全体の32～46%の率で推移している。その他の諸国では、オランダ、フランス、日本があげられる。ガーナに対する贈与は、二国間援助が主であるが、70年代初頭に、二国間援助の比率が約90%であったものが、82年には約70%に減少しており、国際機関による援助が増加してきている。
- (2) 借款では、国際機関による援助が主であるといえるが、図-7に示されていない、73年、75年には、10%台のシェアであり、全体的に、援助国、機関の多様化が特徴づけられる。二国間の主要援助国については、70年代初期にアメリカによる援助シェアが高く、カナダの援助が、継続的に安定して続けられている。また、75年に西ドイツが、単独では最高の55.2百万ドルの援助実績をあげており、OPEC諸国により、78～81年の間に、14～25百万ドルの援助が集中的に実施されたことなどが示される。

分野別の援助内訳（1981年）を金額ベースでみると、無償資金協力は1件しかなく人的資源の分野に対して行われているのみであるが、技術協力では、社会福祉分野が30.6%と第1位で、次いで農村水産分野、人的資源分野、鉱工業・エネルギー分野が多くなっている。一方、借款では、鉱工業・エネルギー分野、公共・公益事業分野でほぼ2分している。

全体としての対ガーナ援助は、鉱工業・エネルギー分野、公共・公益事業分野が中心であり、この2分野で70%以上を占めている。その他には、その他分野を除く全分野に対して援助が行われている。

図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴（1972～1982年）

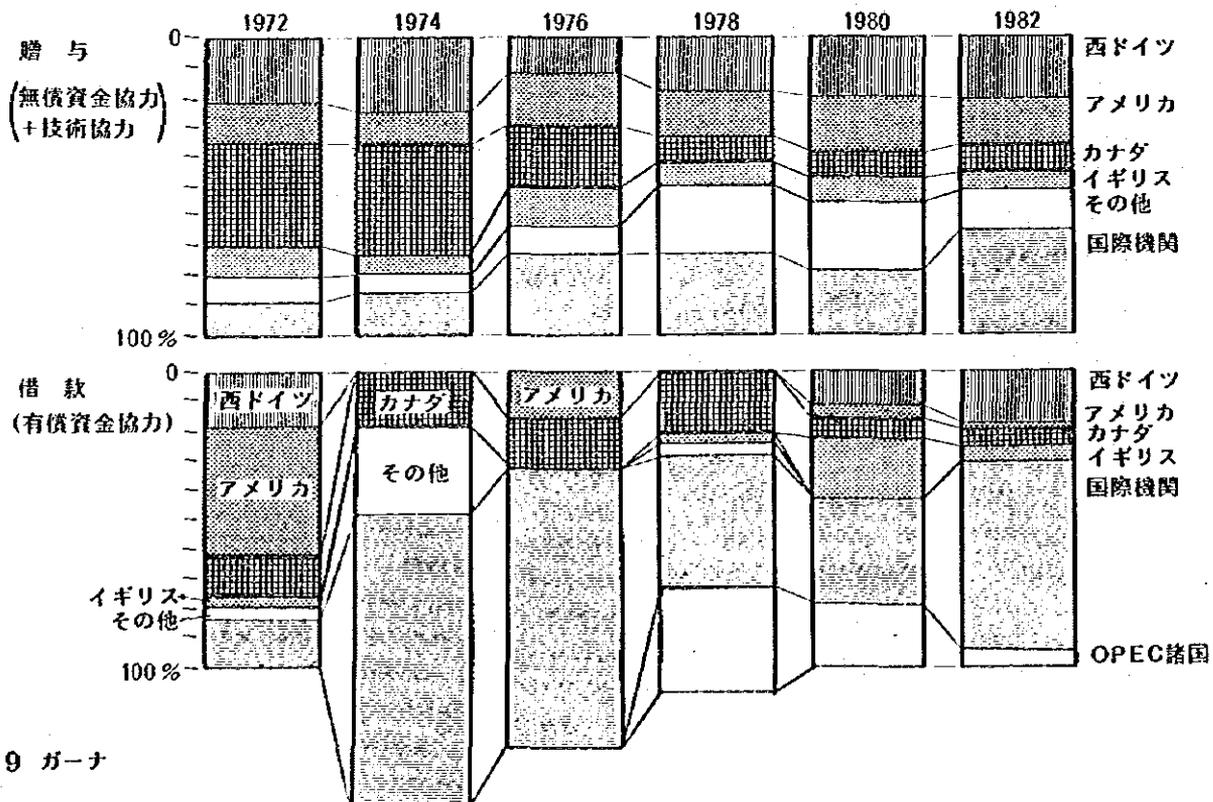
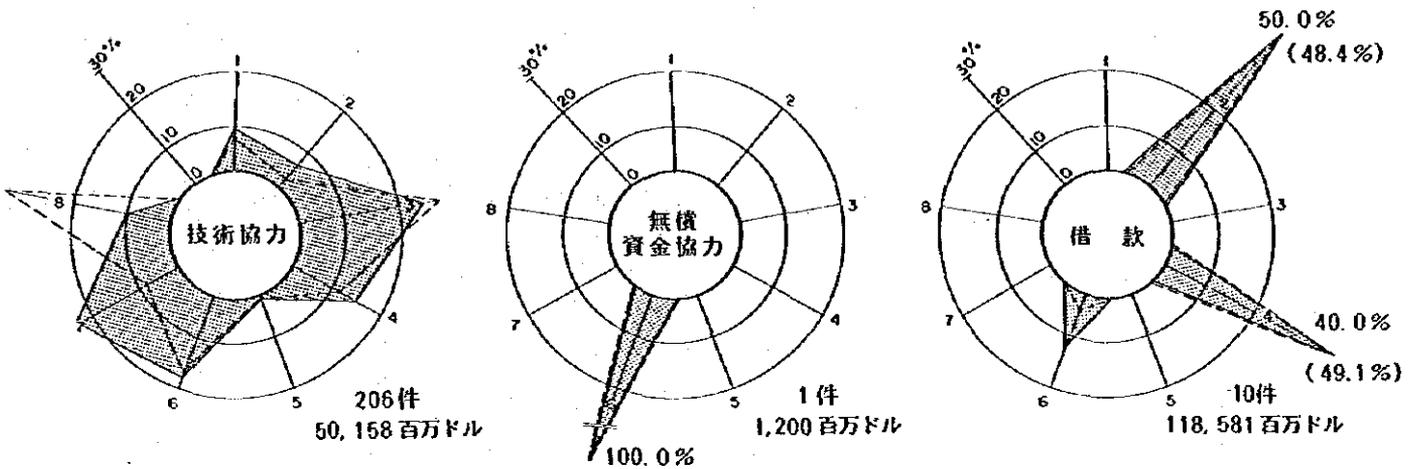
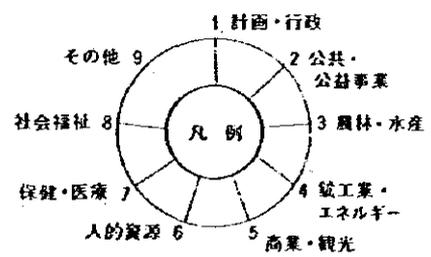
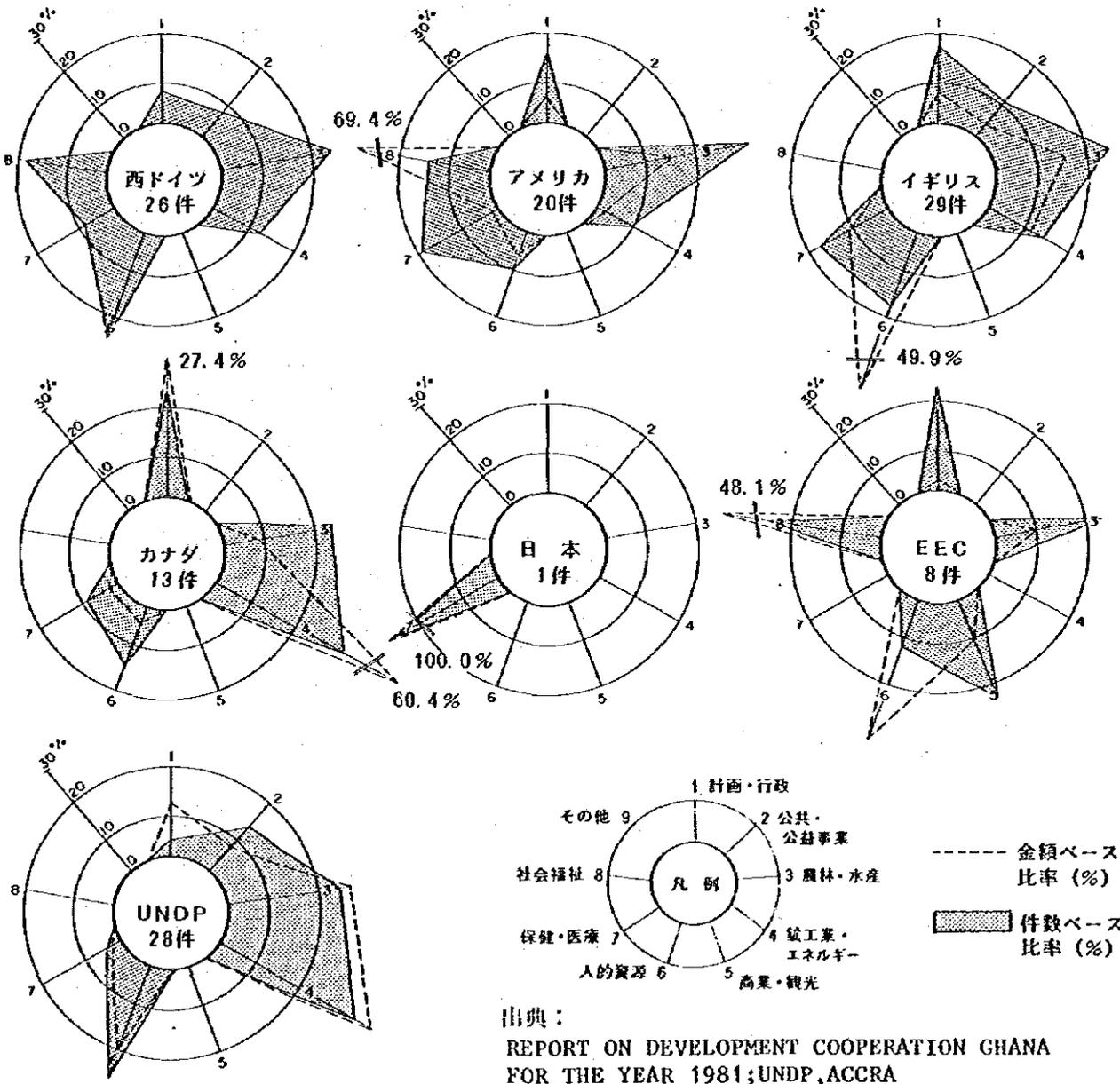


図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴 (1981年)

援助形態別合計



技術協力プロジェクトにおける各国・機関別分野配分



--- 金額ベース比率 (%)

■ 件数ベース比率 (%)

出典: REPORT ON DEVELOPMENT COOPERATION GHANA FOR THE YEAR 1981; UNDP, ACCRA
但し日本についてはJICA資料による。

表一 4 主要援助国・国際機関別援助の特徴

国・機関名	援助額：百万ドル (贈与比率：%)		援助形態
	1981	1982	
西ドイツ	32.8 (50.6)	28.1 (48.1)	70年代には無償資金協力はほとんどなく、贈与の大部分が技術協力によるものであったが、81、82年には西ドイツODA総額のそれぞれ7.6%、13.2%を占めた。贈与、借款の比率は80年代ではほぼ1：1になっている。
アメリカ	22.0 (68.2)	11.0 (91.0)	70年代初めは、無償資金協力はほとんどなかったが76年以降、援助の30～60%を占めるようになった。また、79年以降、借款の比率が減少傾向にある。
イギリス	13.3 (37.6)	8.8 (48.9)	76～80年にかけては無償資金協力が行なわれたが、81、82年には贈与は全て技術協力となった。80年以降借款が減少傾向にあり、82年には贈与、借款の比率は半々になっている。
カナダ	7.9 (49.4)	8.4 (53.6)	贈与、借款にほぼ均等に援助が実施されているが、70年代中頃迄は贈与が多く、近年借款が増加してきているのが全体的な傾向である。
E E C	16.4 (—)	39.4 (—)	不明
I D A	11.5 (—)	14.1 (—)	全て借款

援助実績 (①) と1981年の援助分野別特徴 (②)

① 75年 (62.9百万ドル) 81年 (32.8百万ドル) の援助額は第1位であった。75年の援助額は71年以降、各国、機関と比べても突出しており、最高の実績をあげたが、その後減少し近年は再び増加している。また71～82年の援助累計では第1位を占めている。

② 無償、有償の資金協力については、公共・公益事業 (46.2%) 商業・観光 (40.1%) を中心とした援助活動が行なわれている。技術協力では農林・水産、人的資源、社会福祉の各分野に対する援助が多い。

① 70年代初期の71～73年に第1位、以後増減をくり返し、79年に再び第1位となった。71～82年の援助累計では第2位となっている。

② 農林・水産分野に対する借款が援助額の71%を占めている。技術協力は社会福祉分野が中心である。実施プロジェクトは、小規模農民の生産性向上を図るための肥料、種子の供与、技術に対する借款など多種である。

① 72～78年にかけて援助額は少なかったが、その後急増し、80年には34.8百万ドルで第1位になった。しかし、81、82年はまた減少している。

② 鉱工業・エネルギー、農林・水産の両分野に対する借款が中心である。また技術協力の援助額のほぼ半が人的資源分野に投入されている。具体的には輸出落込みに対する補助のための借款、機材類の供与に対する借款などがある。

① 71年以降の全期間を通じて安定的に継続して援助を続けており、78年には第1位のODA供与国となっている。またその間の援助累計では西ドイツ、アメリカに次いで第3位の実績をあげている。

② 公共・公益事業分野に対する有償、無償資金援助、鉱工業・エネルギー分野の技術協力などがあげられる。プロジェクト内容は、給水設備、システムに関するものが主である。

① 75年以降の援助額はほとんど0であったが、76年以降増額され、近年急増しており、82年には39.4百万ドルで第1位となっている。ガーナに対する援助傾向はカナダ、EECを除いて一定のパターンを示すものが少なく、EECの近年の増加傾向は目立ったものがある。

② 公共・公益事業 (38.6%)、鉱工業・エネルギー (29.5%)、農林・水産 (22.7%) の各分野を中心に援助活動が行われている。主要プロジェクトとしては、ココア輸出援助の借款、道路建設 (アビジョン～アクラ間)、クボン水力発電ダム建設など。

① 76年 (12.7百万ドル)、77年 (23.0百万ドル) は連続して第1位であったが、その前後は少なく、近年また増加傾向を示し、82年は14.1百万ドルで第3位となった。71～82年の累計援助額は第4位である。

② 不 明

図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 (1981~82年)

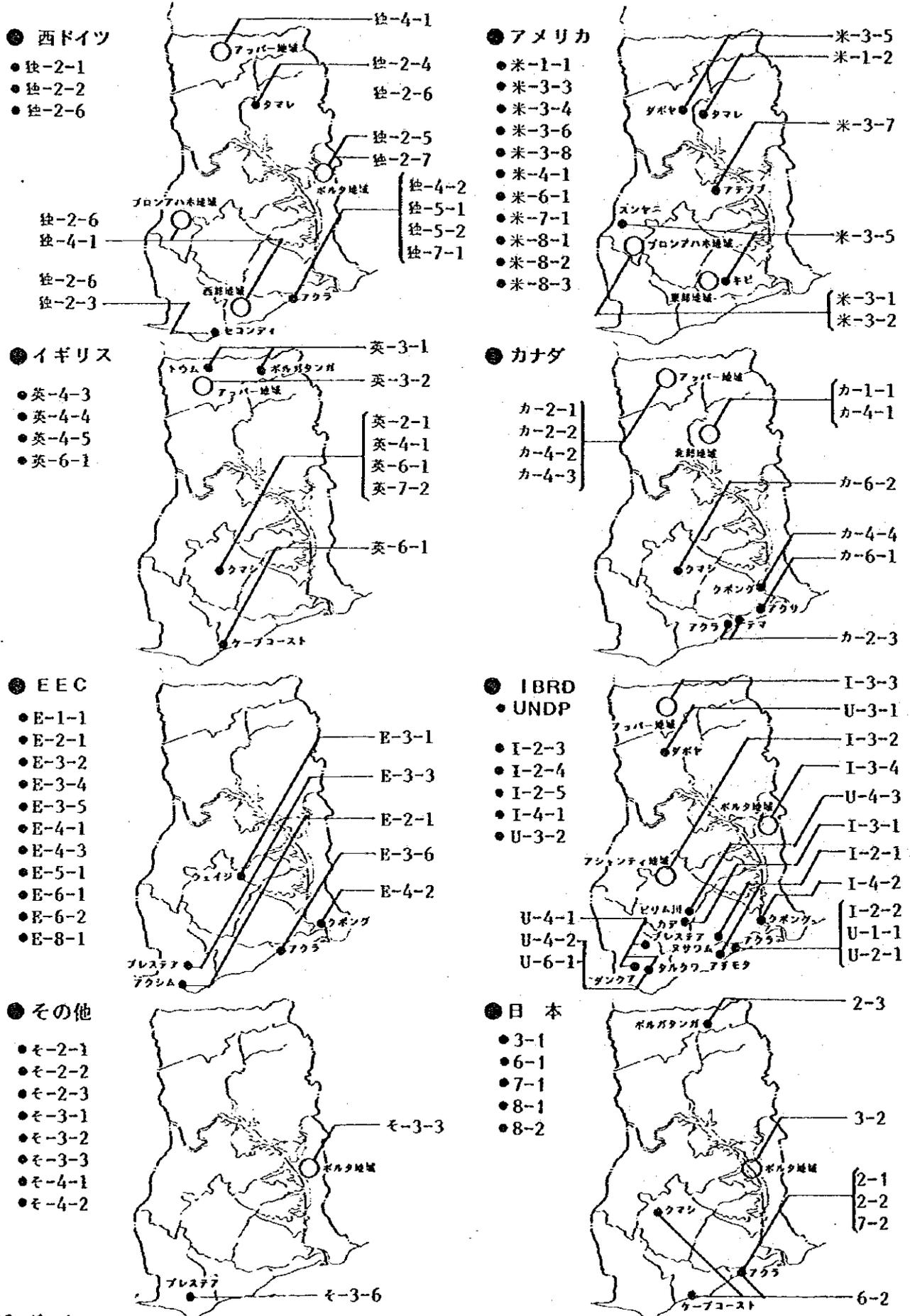


図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図 (日本を除く主要援助国・国際機関)

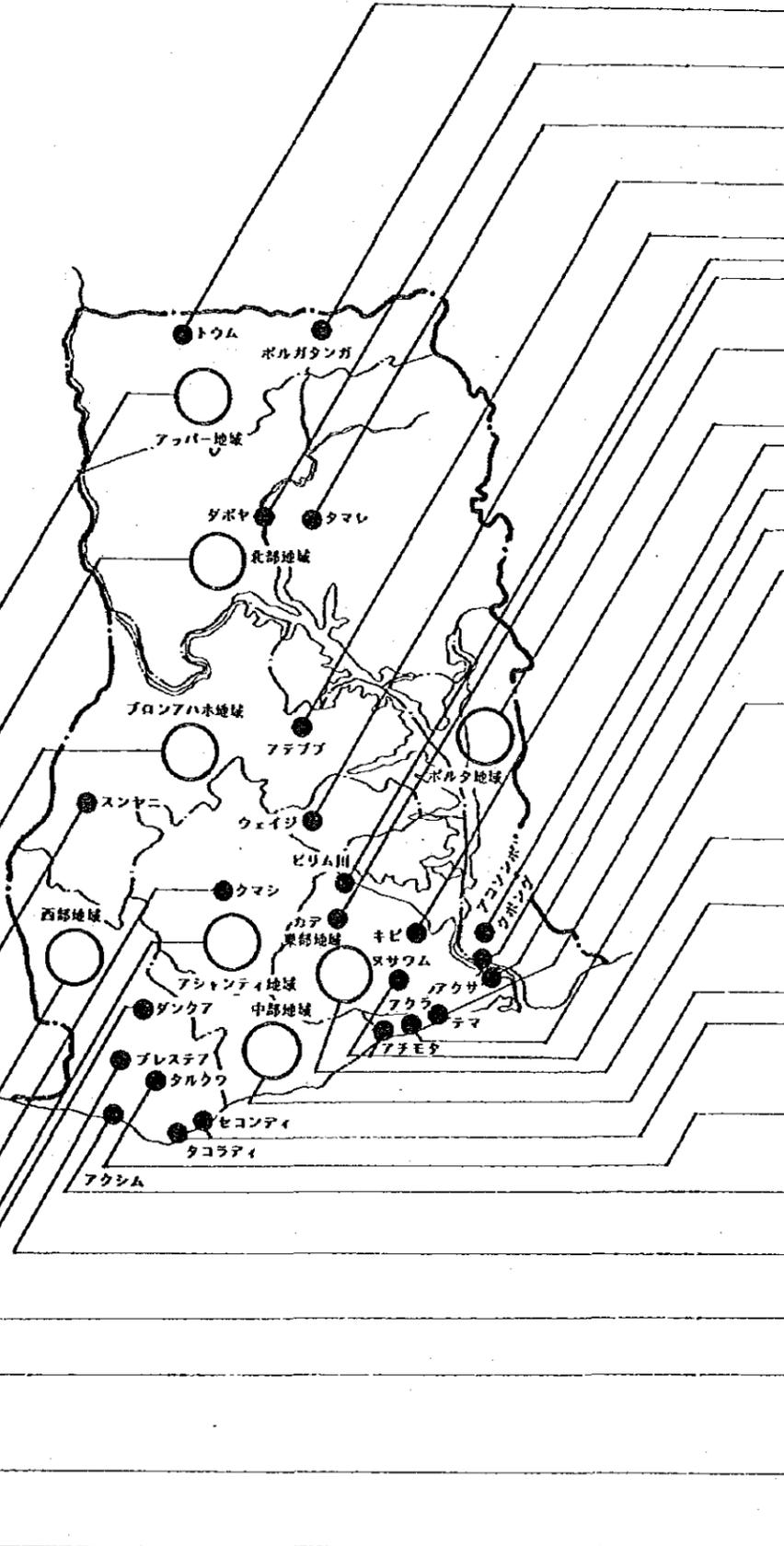
(1981~82年)

- 凡例 A-1-1・プロジェクト名
 ↳ 分野内通し番号
 ↳ 分野区分 (巻末表参照)
 ↳ 主要国・国際機関略称
 独-西ドイツ E-ECC
 米-アメリカ I-IBRD
 英-イギリス U-UNDP
 カ-カナダ その他

● 広域プロジェクト等

- 独-2-1 Assembly Bridges
- 独-2-2 Volta Lake Transport
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme
- 米-1-1 Economic and Rural Development Management (ERDM)
- 米-3-3 Farmers Association and Agro Business Development (FAAD) (Phase I)
- 米-3-4 Community Agricultural Extension
- 米-3-6 Public Law 480 Title I
- 米-3-8 Managed Input Delivery of Agric. Services (MIDAS II)
- 米-4-1 Opportunities Industrialization Centre I, II
- 米-6-1 Development and Application for Intermediate Technology
- 米-7-1 Yaws-Yellow Fever
- 米-8-1 PL 480 Title II
- 米-8-2 Community Development/Village Facilitator
- 米-8-3 African Manpower Development
- 英-3-2 UK/Ghana Projects
- 英-4-4 UK/Ghana Programme Loan
- 英-4-5 Short and Medium Term Credit Cover
- 英-6-1 Supplementation Scheme for University Staff
- カ-3-1 Grains Development
- E-1-1 Micro-Project Programmes (EDF)
- E-2-1 Axim-Mpata-Elubo Road (EDF)
- E-3-2 Twifo Oil Palm Development (EDF)
- E-3-4 Rural Rehabilitation in Conjunction with the Development of the Rural Bank Scheme (EDF)

- E-3-5 Aveyime Livestock Development (EDF)
- E-4-1 Power Interconnection Ghana-Ivory Coast (EIB)
- E-4-3 Construction of CIMAD Clinker Factory (EIB/EDF)
- E-5-1 Line of Credit to NIB
- E-6-1 Multi-annual Training Programme (1976-80) (EDF)
- E-6-2 Multi-annual Training Programme
- E-8-1 Normal Food Aid
- I-2-3 Railway Rehabilitation Project
- I-2-4 3rd E.C.G. Power Distribution Project
- I-2-5 Telecommunication Project
- I-4-1 National Investment Bank
- U-3-2 Assistance to Ghana Cocoa Marketing Board (CMB) (IBRD)
- ←-2-1 Rural Electrification and Water Supplies
- ←-2-2 Transport
- ←-2-3 Ghana Railways Corporation
- ←-3-1 Forest Plantations Expansion
- ←-3-2 Assistance to Oil Palm Plantations
- ←-3-3 Afife Irrigation Project
- ←-4-1 Agriculture and Small Scale Industry
- ←-4-2 Plant for Casting, Rolling and Completion of Aluminium



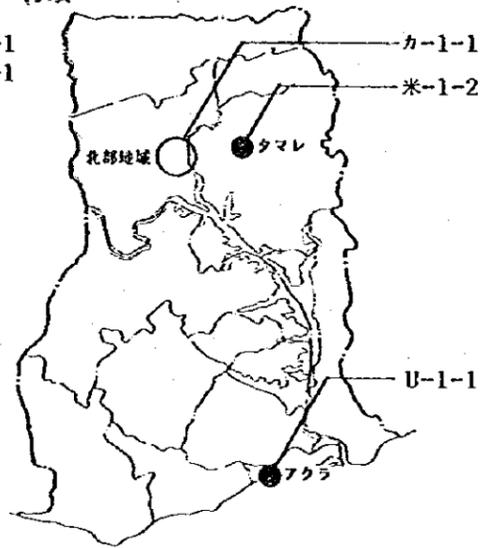
- 英-3-1 Upper Regional Agricultural Development Programme (URADEP)
- 米-3-5 Freshwater Fisheries Extension
- U-3-1 Development of Forest Energy and Forest Management (FAO)
- 独-2-4 Electricity for Tamale
- 米-1-2 Tamale Development Demonstration
- 米-3-7 Managed Input Delivery of Agric. Services (MIDAS I)
- 米-3-8 Managed Input Delivery of Agric. Services (MIDAS II)
- E-3-1 Weija Irrigation Pilot Project (EDF)
- U-4-3 Birim River Diamond Exploration
- I-3-1 Oil Palm Development Project Phase I
- 独-2-5 Electrification of the Volta Region
- 独-2-7 Volta Lake Ferries
- 米-3-4 Community Agricultural Extension
- I-3-4 Volta Regional Agricultural Development Project
- ←-3-3 Afife Irrigation Project
- 米-3-5 Freshwater Fisheries Extension
- 独-2-2 Volta Lake Transport
- カ-4-4 Kpong Hydro-Electric Project
- E-4-2 Kpong Hydro-Electric Project (EDF/EIB)
- I-4-2 Kpong Hydro-Electric Project
- カ-6-1 Volta River Authority (VRA) Training Facility
- カ-2-3 Accra-Tema Water Supply
- 独-4-2 GIHOC Pharmaceutical Factory
- 独-5-1 National Investment Bank (NIB)
- 独-5-2 General Commodity Aid
- 独-7-1 Assistance to the Accra City Council
- 米-3-4 Community Agricultural Extension
- カ-2-3 Accra-Tema Water Supply
- E-3-6 Stabex Transfer (EDF)
- I-2-2 3rd Highway (Emergency Maintenance)
- U-1-1 Technical Services Support (Central Bureau of Statistics) (UNDICD)
- U-2-1 Civil Aviation Development (II) (ICAO)
- I-2-1 Second Highway Project (IDA)
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme
- 米-3-4 Community Agricultural Extension
- 米-8-2 Community Development/Village Facilitator
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme
- 独-4-1 Stone Quarries
- 独-2-3 Water Procurement Sekondi-Takoradi/Cape Coast (II)
- U-4-1 Operation Assistance to State Gold Mining Corporation (UNDTCD)
- U-4-2 Proving Gold Ore Deposits Tarkwa Mine (UNDTCD)
- U-6-1 UST School of Mines, Tarkwa (UNESCO/UNDTCD)
- E-2-1 Axim-Mpata-Elubo Road (EDF)
- E-3-3 Prestea Oil Palm Plantation Rehabilitation (EDF)
- U-4-1 Operation Assistance to State Gold Mining Corporation (UNDTCD)
- ←-3-2 Assistance to Oil Palm Plantations
- U-4-1 Operation Assistance to State Gold Mining Corporation (UNDTCD)
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme
- I-3-2 Ashanti Cocoa Project
- 英-2-1 UK/Ghana Project Loan
- 英-4-2 UK/Ghana Project Loan
- 英-6-1 Supplementation Scheme for University Staff
- 英-7-2 Assistance to Kumasi Medical School
- カ-6-2 Kumasi Technical Institute
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme

- 独-4-1 Stone Quarries
- 米-8-2 Community Development/Village Facilitator
- 英-3-2 UK/Ghana Projects
- カ-2-1 Upper Region Water Supply
- カ-2-2 Upper Region Water Supply (Phase II & III)
- カ-4-2 Rural Water Utilization: Upper Region
- カ-4-3 Water Systems Maintenance and Stabilisation: Upper Region
- I-3-3 Upper Regional Agricultural Development Project
- カ-1-1 Integrated Rural Development Planning - Northern Region (NORRIP)
- カ-4-1 Northern Region Water Supply
- 独-2-6 Three Thousand Wells Programme
- 独-4-1 Stone Quarries
- 米-3-1 Managed Inputs Delivery and Agricultural Services (MIDAS) (Phase I)
- 米-3-2 MIDAS (Phase II)
- 米-3-4 Community Agricultural Extension
- 米-8-2 Community Development/Village Facilitator
- 米-3-5 Freshwater Fisheries Extension

図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図
(1981~82年)

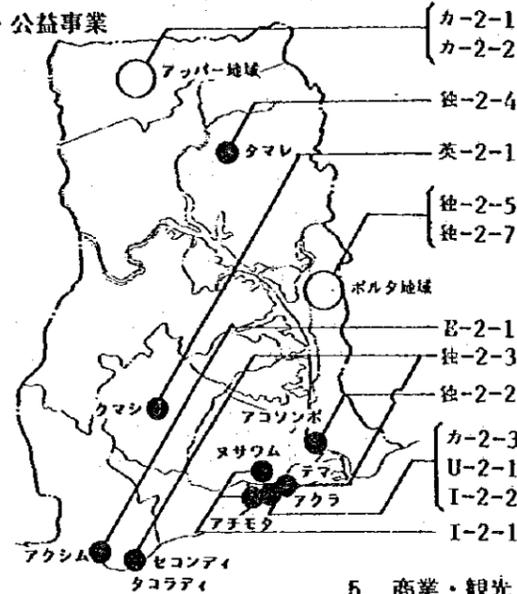
1. 計画・行政

- 米-1-1
- I-1-1



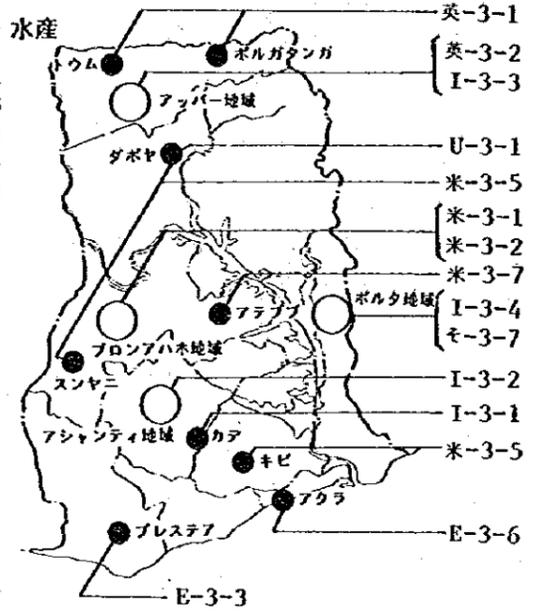
2. 公共・公益事業

- 独-2-1
- 独-2-2
- 独-2-6
- I-2-3
- I-2-4
- I-2-5
- モ-2-1
- モ-2-2
- モ-2-3
- モ-2-4



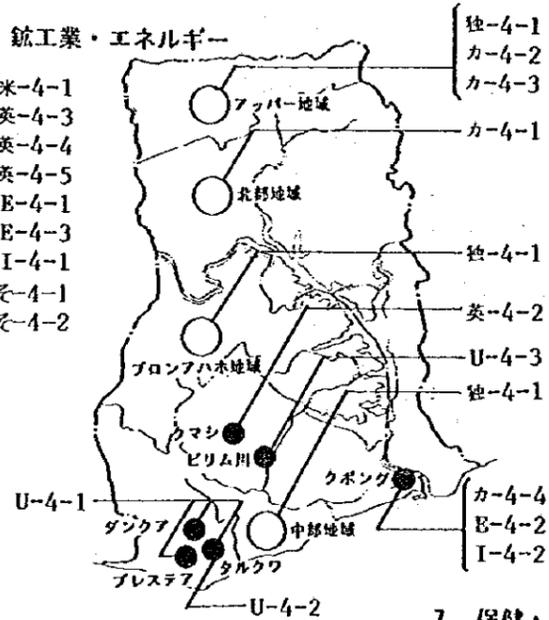
3. 農林・水産

- 米-3-1
- 米-3-3
- 米-3-4
- 米-3-6
- 米-3-8
- カ-3-1
- E-3-1
- E-3-2
- E-3-4
- E-3-5
- U-3-2
- モ-3-6



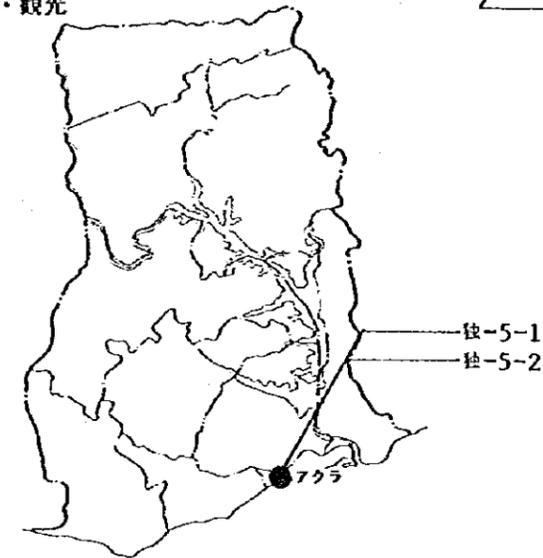
4. 鉱工業・エネルギー

- 米-4-1
- 英-4-3
- 英-4-4
- 英-4-5
- E-4-1
- E-4-3
- I-4-1
- モ-4-1
- モ-4-2



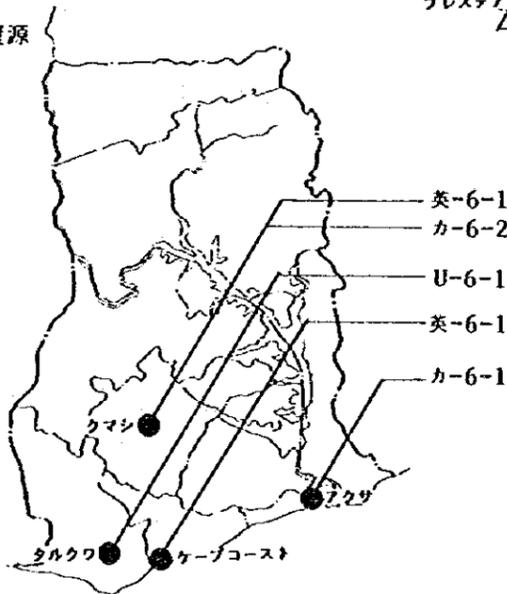
5. 商業・観光

- E-5-1



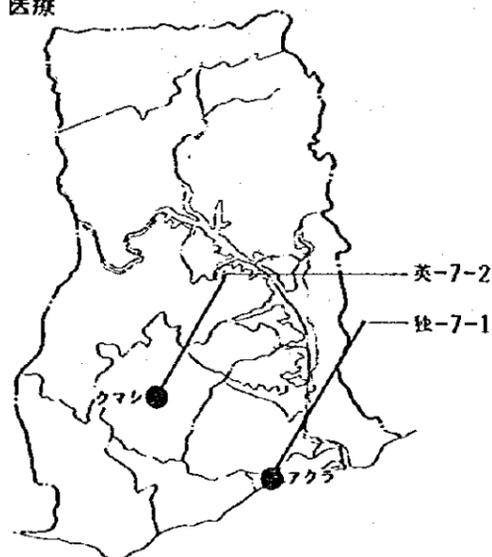
6. 人的資源

- 米-6-1
- 英-6-1
- E-6-1
- E-6-2



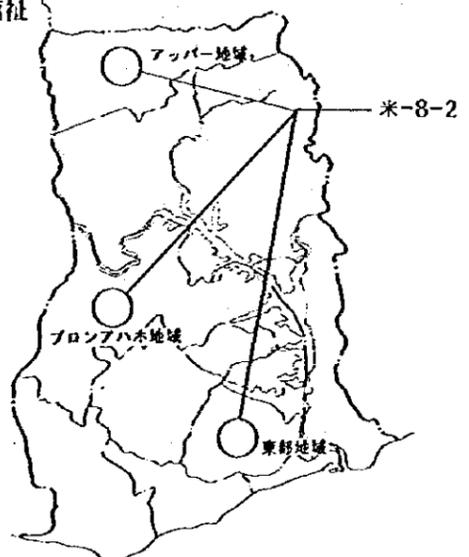
7. 保健・医療

- 米-7-1



8. 社会福祉

- 米-8-1
- 米-8-2
- 米-8-3
- E-8-1



3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要 (表-5)

凡 例

1) 「番号」は 国名-分野-分野内での通し番号 の順で設定した。

2) 「供与金額」において ⑧1-1981年 ⑧2-1982年 ⑧3-プロジェクト期間総計
N/A-Not Available (不明) (いずれもコミットメント額)

3) 「備考」において ④-専門家派遣 ⑤-研修 (研修員受入, フェローシップ研修) ⑥-機材供与
無償-無償資金協力 有償-有償資金協力
無償・有償の記述のないものは技術協力プロジェクトである。

西ドイツ

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-2-1	Assembly Bridges — 地方の9カ所に架橋	—	—	⑧1 N/A ⑧2 — ⑧3 4,808	有償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年	
独-2-2	Volta Lake Transport — 輸送システムの改善	Akosombo, Tenugaba	—	⑧1 N/A ⑧2 1,650* ⑧3 28,923	有償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年	
独-2-3	Water Procurement Sekondi- Takoradi/Cape Coast (II) — 給水の改善	Sekondi, Takoradi	—	⑧1 N/A ⑧2 1,580* ⑧3 5,705	有償 E/N締結1980 金利2% 償還30年 据置10年	
独-2-4	Electricity for Tamale — 電化の普及。発電機2基の調 達	Tamale	—	⑧1 — ⑧2 N/A ⑧3 5,192	有償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年	
独-2-5	Electrification of the Volta Region — 電気グリッドの改善	Volta Region	—	⑧1 N/A ⑧2 1,050* ⑧3 10,769	有償 E/N締結1977 金利0.75% 償還50年 据置10年	
独-2-6	Three Thousand Wells Programme — 掘削井に援助	Ashanti, Central Brong, Ahafo, Western & Eastern Regions	—	⑧1 900(無) ⑧2 7,930(有) ⑧3 1,192(無) 13,000(有)	有償&無償 E/N締結1976 金利2% 償還30年 据置10年	
独-2-7	Volta Lake Ferries — フェリー船の修復	Volta	—	⑧1 N/A ⑧2 120* ⑧3 1,072	有償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年	
独-4-1	Stone Quarries — 石切り場 (50t/h) 3カ所の建設	Upper, Central & Brong- Ahafo Regions	—	⑧1 N/A ⑧2 2,876* ⑧3 7,500	有償 E/N締結1978 金利2% 償還30年 据置10年	

西ドイツ(続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-4-2	GHIOC Pharmaceutical Factory — 薬工場の生産向上	Accra	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 12,692		有償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年
独-5-1	National Investment Bank (NIB) — N I B事業拡充に援助	Accra	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 7,607		有償 E/N締結1979 条件不明
独-5-2	National Commodity Aid — 商品ローン12を供与。輸入品のための外国為替に融資	Accra	—	⑧1 N/A ⑧2 1,780* ⑧3 58,500		有償 E/N締結1966 条件不明
独-7-1	Assistance to the Accra City Council — 廃物処理の改善	Accra	—	⑧1 N/A ⑧2 — ⑧3 807(借) 3,462(貸)		有償&無償 E/N締結1980 金利0.75% 償還50年 据置10年

アメリカ

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
米-1-1	Economic and Rural Development Management (ERDM) — 地方分権化政策の実施。政府の地方住民政策施行能力の拡充	—	1977-82	⑧1 533 ⑧2 697 ⑧3 3,473		
米-1-2	Tamale Development Demonstration — 共同体2地域における政策促進・社会的改善のデモンストラーション	Tamale	1981-83	⑧1 N/A ⑧2 22 ⑧3 500		
米-3-1	Managed Inputs Delivery and Agricultural Services (MIDAS) (Phase I) — 小規模農民の生産・販売制度の改善	Brong-Ahafo	1980-84	⑧1 3,000 ⑧2 181 ⑧3 5,264		
米-3-2	MIDAS (Phase II) — 小規模農民の生産・販売制度の改善	Brong-Ahafo	1980-84	⑧1 — ⑧2 1,144 ⑧3 5,450		
米-3-3	Farmers Association and Agro Business Development (FAAD) (Phase I) — 農民共同体の強化および地方企業の生産・販売部門の改革	—	1977-82	⑧1 165 ⑧2 697 ⑧3 3,473		
米-3-4	Community Agricultural Extension — ボランティア派遣	Brong-Ahafo, Eastern, Volta & Greater Accra Regions	1978-88	⑧1 N/A ⑧2 230 ⑧3 1,600		ボランティア 2028M/M

アメリカ (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
米-3-5	Freshwater Fisheries Extension — ボランティア派遣	Daboasi, Kibi, Sunyani	1981-88	⑧1 N/A ⑧2 60 ⑧3 500		ボランティア3名 (600 M/M)
米-3-6	Public Law 480 Title I — 商品の購入。農業自助プロジェクトの運用資金	—	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 7,000		有償 E/N不明 金利2%&3% 償還不明 据置10年
米-3-7	Managed Input Delivery of Agric. Services (MIDAS I) — 肥料, 種, クレジット・サービス, 技術を供与し, 小規模農民の生産性を向上	Atebubu	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 7,000		有償 E/N不明 金利2%&3% 償還不明 据置10年
米-3-8	Managed Input Delivery of Agric. Services (MIDAS II) — 同 上	Atebubu	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 7,000		有償 E/N不明 金利2%&3% 償還不明 据置なし
米-4-1	Opportunities Industrialization Centre I, II — 都市部の熟練労働力開発のための職業訓練	Urban area	1981-82	⑧1 236 ⑧2 118 ⑧3 472		
米-6-1	Development and Application for Intermediate Technology — 地域の生産, 収入向上のためにノウハウを提供する国家機構を設立	—	1979-84	⑧1 1,000 ⑧2 525 ⑧3 3,756		
米-7-1	Yaws-Yellow Fever — インド痘・黄熱病撲滅のための免疫化計画	—	1980-83	⑧1 81 ⑧2 61 ⑧3 581		
米-8-1	PL 480 Title II — ガーナ産農産物の生産, 貯蔵, 分配向上のための自助プロジェクトへ資金供与	—	—	⑧1 — ⑧2 4,038 ⑧3 N/A		
米-8-2	Community Development/Village Facilitator — 多分野にわたるコミュニティ・プロジェクト	Brong-Ahafo, Upper & Eastern Regions	1980-88	⑧1 N/A ⑧2 100 ⑧3 680		ボランティア186 M/M
米-8-3	African Manpower Development — 技術・経営関係のマン・パワー養成	—	1977-84	⑧1 120 ⑧2 248 ⑧3 1,381		

イギリス

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
英-2-1	UK/Ghana Project Loan — 給水プロジェクトなど数プロジェクトを支援	Kumasi	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 17,000		有償 E/N締結1975 無利子 償還25年 据置7年

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
英-3-1	Upper Regional Agricultural Development Programme (URADep) — IBRD/ODA 計画に援助	Bolgatanga, Tumu	1977-82	⑧1 230 ⑧2 140 ⑧3 2,500		④ 2名 コンサルタント
英-3-2	UK/Ghana Projects — 農業プロジェクト。上流地域の農業開発計画およびベンソ・パーマ油農園開発に資金援助	Upper Region, Benso	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 17,000		有償 E/N 締結1975 無利子 償還25年 据置7年
英-4-2	UK/Ghana Project Loan — ファイバー・バック工場など産業部門のプロジェクトを支援	Kumasi	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 17,000		有償 E/N 締結1975 無利子 償還25年 据置7年
英-4-3	UK/Ghana Programme Loan — 16団体に対して機械のスペア・パーツの供与, 交換	—	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 34,000		有償 E/N 締結1978 無利子 償還25年 据置7年
英-4-4	UK/Ghana Programme Loan — 9団体に対して機械のスペア・パーツの供与, 交換	—	—	⑧1 N/A ⑧2 N/A ⑧3 17,000		有償 E/N 締結1981 無利子 償還25年 据置7年
英-4-5	Short and Medium Term Credit Cover — 輸出信用保証部門をカバー	—	—	⑧1 — ⑧2 68,000 ⑧3 68,000		有償 E/N 締結1982 金利0.75% 他不明
英-6-1	Supplementation Scheme for University Staff — 英国人アカデミック・スタッフ大学関係者に対する給料補充	Legon, Cape Coast, Kumasi	1966-84	⑧1 990 ⑧2 1,000 ⑧3 7,000		
英-7-2	Assistance to Kumasi Medical School — 医療機材を供与	Kumasi	1981-83	⑧1 130 ⑧2 250 ⑧3 N/A		

カナダ

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
カ-1-1	Integrated Rural Development Planning-Northern Region (NORRIP) — 開発計画作成のための事前調査	Northern Region	1980-82	⑧1 1,100* ⑧2 719* ⑧3 3,675		④ 9名 ⑧

カナダ (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
カー2-1	Upper Region Water Supply — 給水設備の整備	Upper Region	—	⑧1 47* ⑧2 39* ⑨ 2,430(付) 4,050(無)		有償&無償 E/N締結1973 無利子 償還50年 据置10年
カー2-2	Upper Region Water Supply (Phase II & III) — 2,500カ所で掘削井, 手動ポンプの据え付け。3都市の手動ポンプ据え付け, 給水計画, 拡充のためのF/S調査	Upper Region	—	⑧1 2,443* ⑧2 66* ⑨ 9,732		無償 E/N締結1978/ 81
カー2-3	Accra-Tema Water Supply — ウェイジャ水処理計画に充てる機材供与。アクラへの給水を改善するためのパイプラインを供与。エンジニアリング, コンサルティング, コントラクターの供与	Accra, Tema	—	⑧1 1,622* ⑧2 1,300* ⑨ 8,752(付) 3,232(無)		有償&無償 E/N締結1973
カー3-1	Grains Development — 混種とうもろこしの品種の開発	—	—	⑧1 N/A ⑧2 159 ⑨ 1,555	④ 1名 ⑧ ⑨	
カー4-1	Northern Region Water Supply — 給水システムの強化	Northern Region	1981-83	⑧1 1,800 ⑧2 1,102 ⑨ 2,985	④ 4名 ⑧	
カー4-2	Rural Water Utilization : Upper Region	Upper Region	1976-83	⑧1 580 ⑧2 442 ⑨ 1,629	④ 5名 ⑧	
カー4-3	Water Systems Maintenance and Stabilization : Upper Region — 都市および地方の給水システムのメインテナンスで研修	Upper Region	1982-86	⑧1 — ⑧2 1,134 ⑨ 6,522	④ 6名 ⑧	
カー4-4	Kpong Hydro-Electric Project — エンジニアリング・サービスおよび機材供与	Kpong	—	⑧1 871* ⑧2 — ⑨ 28,350(付) 881(無)		有償&無償 E/N締結1975 金利3% 償還50年 据置10年
カー6-1	Volta River Authority (VRA) Training Facility	Akusa	1981-83	⑧1 N/A ⑧2 957 ⑨ 2,430	④ ⑧	
カー6-2	Kumasi Technical Institute — 技術研究所の建設	Kumasi	1978-84	⑧1 239 ⑧2 57 ⑨ 5,433	④ ⑧ ⑨	

E E C

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
E-1-1	Micro-Project Programmes (EDF) — 小規模プロジェクトを確立	—	—	⑧1 N/A ⑧2 178* ⑨ 1,230		無償 E/N締結1978

E E C (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
E-2-1	Axim-Mpata-Elubo Road (EDF) — アビジャン=アラク間の道路建設	Axim, Mpata, Elubo	—	(81) N/A (82) N/A (総) 20,430(有) 4,480(無)		有償&無償 E/N締結1979 金利1% 償還40年 据置10年
E-3-1	Weija Irrigation Pilot Project (EDF) — 200 haのとうもろこし, 野菜のための耕作地開拓	Weija	—	(81) N/A (82) N/A (総) 4,300(有) 5,424(無)		有償&無償 E/N締結1977 条件不明
E-3-2	Twifo Oil Palm Development (EDF) — 6,000 haのオイル・パーム・プランテーションの開拓	Twifo	—	(81) N/A (82) 640* (総) 6,010		有償 E/N締結1978 金利1% 償還40年 据置10年
E-3-3	Preatea Oil Palm Plantation Rehabilitation (EDF) — 既存のオイル・パーム・プランテーションおよびオイル工場の修復	Preatea	—	(81) N/A (82) 500* (総) 1,710(有) 2,849(無)		有償&無償 E/N締結1980& 81 金利1% 償還40年 据置10年
E-3-4	Rural Rehabilitation in Conjunction with the Development of the Rural Bank Scheme (EDF) — 約2万人の農・漁民に機材供与		—	(81) N/A (82) N/A (総) 2,530		無償 E/N締結1980
E-3-5	Aveyime Livestock Development (EDF) — 家畜および家畜場の改善	Aveyime	—	(81) — (82) — (総) 2,870		無償 E/N締結1982
E-3-6	Stabex Transfer (EDF) — 81年E E C向けココア輸出の価格安定に援助	Accra	—	(81) — (82) — (総) 22,940(有) 6,424(無)		有償&無償 E/N締結1982 無利子 条件不明
E-4-1	Power Interconnection Ghana-Ivory Coast (EIB) — ガーナ=象牙海岸間の配電網の連結		—	(81) N/A (82) N/A (総) 5,400		有償 E/N締結1982
E-4-2	Kpong Hydro-Electric Project (EDF/EIB) — 水力発電ダムの建設	Kpong	—	(81) 4,700* (82) N/A (総) 18,305		有償 E/N締結1977 金利1%&6.5% 償還40年&15年 据置10年&4.5年
E-4-3	Construction of CIMAD Clinker Factory (EIB/EDF) — ガーナ, トーゴ, 象牙海岸3カ国合併 CIMADクリンカー工場建設プロジェクト		—	(81) N/A (82) N/A (総) 1,990		有償 E/N締結1977 金利2% 償還20年 据置14年
E-5-1	Line of Credit to NIB — 中小企業の機材・原料輸入に援助		—	(81) N/A (82) N/A (総) 1,685		有償 E/N締結1980 金利1% 償還40年 据置10年
E-6-1	Multi-annual Training Programme (1976-80) (EDF) — 欧州でガーナ人の研修		1981-85	(81) — (82) 760 (総) 2,320	(81)	

1) EDF - European Development Fund

2) EIB - European Investment Bank

EEC (続き)

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
E-6-2	Multi-annual Training Programme	---	1981-85	(81) ---	(81) ---	⑧
				(82) 112	(82) 112	
				(83) 1,750	(83) 1,750	
E-8-1	Normal Food Aid — 米5,175 l, ミルク粉2,000 l, バター油600 lを供与。 ガーナの開発プロジェクトに 充当	---	N/A	(81) 2,300	(81) 2,300	
				(82) 5,900	(82) 5,900	
				(83) N/A	(83) N/A	

IBRD

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
I-2-1	Second Highway Project (IDA) — アチモタ=ヌワサム間の道路 改修工事	Achimota, Nsawam	---	(81) N/A	(81) N/A	有償(非ODA) E/N締結1975 金利8.5% & N/A 償還40年 据置5年&2年
				(82) 1,880*	(82) 1,880*	
				(83) 28,000	(83) 28,000	
I-2-2	3rd Highway (Emergency Maintenance) — ガーナ・ハイウェー局の1981 —83年道路メンテナンス 計画。輸入スペア・パーツの 供与	Accra	---	(81) 5,800*	(81) 5,800*	有償(非ODA) E/N締結1980 金利12.5% 償還8年 据置2年
				(82) 6,440*	(82) 6,440*	
				(83) 25,000	(83) 25,000	
I-2-3	Railway Rehabilitation Project — 機関車・貨車の修復, ワーク ショップの近代化, 電気通信 設備の取替えおよび技術援助	---	---	(81) N/A	(81) N/A	有償 E/N締結1981 他不明
				(82) 1,130	(82) 1,130	
				(83) 29,000	(83) 29,000	
I-2-4	3rd E. C. G. Power Distribution Project — 260 kmに及ぶ地上・地下の電 線設置。トランスフォーマー および変電所の設置	---	---	(81) ---	(81) ---	有償 E/N締結1981 他不明
				(82) 590	(82) 590	
				(83) 18,000	(83) 18,000	
I-2-5	Telecommunication Project — 約18,000 ラインの自動電話ス イッチ機材の据え付け, 長距 離化。テレックス設備	---	---	(81) 12,300	(81) 12,300	有償(非ODA) E/N締結1975 金利8.5% 償還20年 据置10年
				(82) 1,130	(82) 1,130	
				(83) 23,000	(83) 23,000	
I-3-1	Oil Palm Development Project Phase I — 4,000 haの核となるプランテ ーションの設立。1,200 haま でオイル・パーム畑を拡張	Kade, Kwal	---	(81) 3,500*	(81) 3,500*	有償 E/N締結1975 金利0.75% 償還40年 据置8年
				(82) 2,230*	(82) 2,230*	
				(83) 13,600	(83) 13,600	
I-3-2	Ashanti Cocoa Project — ココアの再栽培, メインティ ナンス	Ashanti	---	(81) N/A	(81) N/A	有償 E/N締結1975 条件不明
				(82) 1,970*	(82) 1,970*	
				(83) 14,000	(83) 14,000	
I-3-3	Upper Regional Agricul- tural Development Project — 農業支援システムを確立	Upper Region	---	(81) N/A	(81) N/A	有償 E/N締結1976 他不明
				(82) 900	(82) 900	
				(83) 21,000	(83) 21,000	

IBRD (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
I-3-4	Volta Regional Agricultural Development Project — 農民へ基礎的農業サービスを 供与	Volta Region	—	⑧1 N/A ⑧2 2,450 * ⑧3 29,500		有償 E/N締結1980
I-4-1	National Investment Bank — 第1次・2次産業の能力拡充 ・リハビリ	—	—	⑧1 532 * ⑧2 3,390 * ⑧3 35,000		有償(非ODA) E/N締結1975& 79 金利8.5% など 償還18年& 40年 据置2.5年&10年
I-4-2	Kpong Hydro-Electric Project — ダム、水力発電プラントの建 設、送電設備の供与	Kpong	—	⑧1 35,600 * ⑧2 3,360 ⑧3 39,000		有償(非ODA) E/N締結1977 金利8.5% 償還15年 据置不明

UNDP

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
U-1-1	Technical Services Support (Central Bureau of Statistics) (UNDTCD)	Accra	1979-83	⑧1 425 ⑧2 511 ⑧3 1,636	④ 4名 ⑦ ⑧	
U-2-1	Civil Aviation Development (II) (ICAO) — 民間航空部門の研修、安全設 備の供与、エンジニアリング 設計、メインテナンス、リ ハビリなど	Accra	1982-84	⑧1 — ⑧2 312 ⑧3 2,275	④ 122M/M ⑦ ⑧	
U-3-1	Development of Forest Energy and Forest Management (FAO) — 木炭および同副産物、林業マ ネジメントの指導、事前調査	Daboase	1976-83	⑧1 757 ⑧2 649 ⑧3 4,116	④ ⑦ ⑧	
U-3-2	Assistance to Ghana Cocoa Marketing Board (CMB) (IBRD) — マネジメント、スタッフの訓 練、財政、経理等の分野に対 しサブ・コントラクターを派 遣	—	1981-83	⑧1 262 ⑧2 212 ⑧3 750	④ ⑦ ⑧	コンサルタント 5名
U-4-1	Operation Assitance to State Gold Mining Corporation (UNDTCD)	Tarkwa, Dunkwa, Prestea,	1979-86	⑧1 707 ⑧2 483 ⑧3 2,509	④ 8名 ⑦ ⑧	コンサルタント 12M/M
U-4-2	Proving Gold Ore Deposits Tarkwa Mine (UNDTCD) — ダイヤモンド掘削の技術訓練	Tarkwa,	1980-83	⑧1 214 ⑧2 103 ⑧3 360	④ 1名(24M/ M) ⑦ ⑧	コンサルタント
U-4-3	Birim River Diamond Exploration — ガーナ合弁ダイヤモンド社の ビリム地区でのダイヤモンド 探査	Birim	1979-83	⑧1 375 ⑧2 293 ⑧3 2,315	④ ⑦ ⑧	

3) UNDTCD-UN Department of Technical Cooperation for Development

4) ICAO-International Civil Aviation Organization

UNDP (続き)

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
U-6-1	UST School of Mines, Tarkwa (UNESCO/UNDTCD) — 学校での訓練水準の向上	Tarkwa	1977-83	⑧1	467	④ 4名 UNボランティア & コンサルテ ィング計7M/M
				⑧2	467	
				⑧3	1,790	
						⑧ ⑧

その他 (総額 5,000 千ドル以上のプロジェクト)

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
そ-2-1	Rural Electrification and Water Supplies — 中期クレジット	—	—	⑧1	5,500	インド 有償 E/N締結1981 無利子 償還5年据置1年
				⑧2	N/A	
				⑧3	N/A	
そ-2-2	Transport — 工業開発銀行(インド)によ る中期クレジット	—	—	⑧1	7,400	インド 有償 E/N締結1981 金利N/A 償還5年据置1年
				⑧2	N/A	
				⑧3	N/A	
そ-2-3	Ghana Railways Corporation — 鉄道のリハビリ	—	—	⑧1	13,000	AIDB 有償 E/N締結1981 他不明
				⑧2	N/A	
				⑧3	N/A	
そ-3-1	Forest Plantations Expansion — 森林改修計画。植林従事者に 対して食糧援助	All regions	1979-84	⑧1	N/A	WFP
				⑧2	3,300	
				⑧3	14,246	
そ-3-2	Assistance to Oil Palm Plantations — オイル・パーム植樹に従事す る零細農民に食糧援助	Twifo Prasu, 1978-84 Jukwa, Kwae, Okomanim, Foso, Akwansenem & Prestea	—	⑧1	N/A	WFP
				⑧2	1,900	
				⑧3	6,379	
そ-3-3	Afiase Irrigation Project — かんがいプロジェクトに必要な 資機材供与, 専門家派遣	Volta region	—	⑧1	N/A	中国 有償 E/N締結1979 無利子 償還20年据置10年
				⑧2	N/A	
				⑧3	18,800	
そ-4-1	Agriculture and Small Scale Industry — 中期クレジット	—	—	⑧1	5,500	インド 有償 E/N締結1981 無利子 償還5年据置1年
				⑧2	N/A	
				⑧3	N/A	
そ-4-2	Plant for Casting, Rolling and Completion of Aluminium — アルミニウム・プラントに融 資	—	—	⑧1	28,652	
				⑧2	N/A	
				⑧3	N/A	

4 我が国の経済・技術協力実施状況

4-1 我が国の対ガーナ援助の特徴

我が国は、ガーナが独立した1957年3月に承認し、2年後の59年3月には大使館を開設した。両国の関係は、比較的良好で大きな変化もなく、現在に至っている。

我が国とガーナの貿易は、ケニア、コート・ジボワールなどと輸出入額は同程度であり、アフリカ諸国中では、中位にある。両国間の輸出入では、ガーナからの輸出が輸入を上回っており、近年では、3～4倍以上の出超傾向で推移している。74年以降では、77年にガーナからの輸出（148.8百万ドル）、輸入（58.17百万ドル）ともにピークとなり、総額206.97百万ドルに達した。78～81年の間に総額145～153百万ドルであったが、82年は輸出、入額とも前年の2/3に減少し、総額で99.82百万ドルと、1億ドルを割った。ガーナからの輸出品目はカカオ豆が中心で、我が国からは電気製品、魚介類などが主である。

我が国のガーナに対する経済・技術援助は、従来から低い水準であり、71～74年が、0.3～0.4百万ドル、75～77年が0.9～3.0百万ドル、78年に7.9百万ドルとピークになり、以降、80年には、2.5百万ドルに落ちたが、82年まで5.2～5.6百万ドルで推移している。しかし、近年のこの水準も、ガーナに対するODA総額の、3.3～3.7%のシェアであり、最高の78年で6.9%、80年及び、76年以前は1%台、又はそれ以下のシェアにすぎない。

援助形態では、過去、2次にわたる債務救済を除き、すべて贈与であり、82年では、無償資金協力と技術協力が半々となっている。

図-12 ガーナにおける我が国ODAのシェア

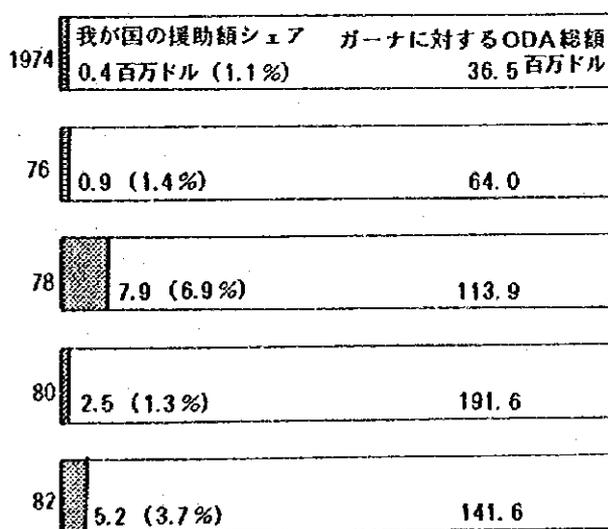
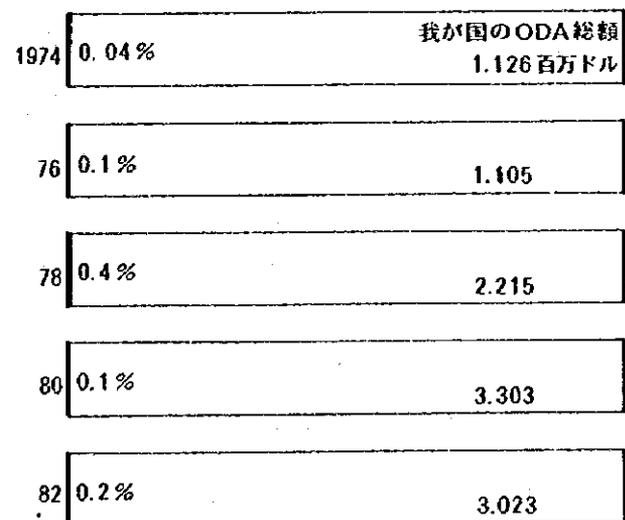


図-13 我が国のODA総額に占めるガーナのシェア



出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES
OECD / 78, 82, 84

S. 57年度の我が国の援助分野別にみると、公共・公益事業（2）農林・水産（3）、人的資源（6）、保健医療（7）、社会福祉（8）の各分野で、それぞれ2～3案件の援助を実施している。大部分が無償資金協力によるものであるが、公共・公益事業分野で通信施設拡充計画に5,888百万円の借款（E/N57年，L/A58年）、また、保健医療分野で、ガーナ大学医学部に対し、無償資金協力と、S. 43年より4次にわたる技術協力を実施中である。

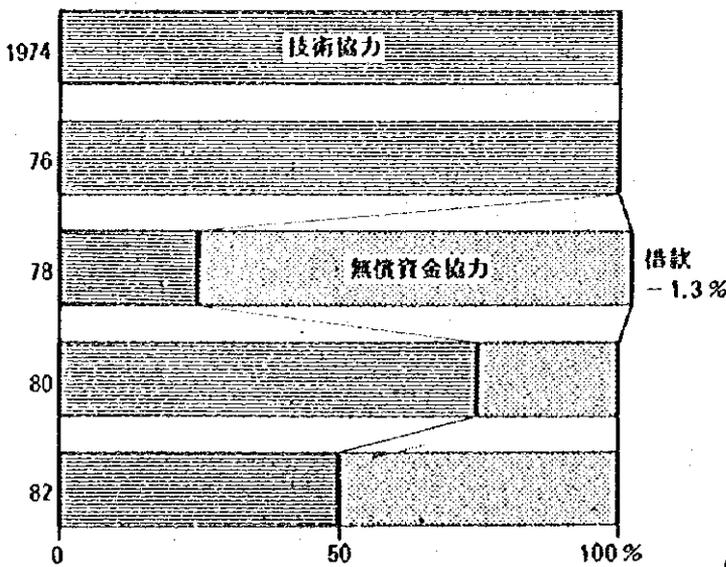
表一六 我が国のガーナに対する経済技術協力実績

	～昭和56年度 (累積)	昭和57年度	58年度 (12月末実績)
● 技術協力			
一経費	3,444百万円	575百万円	581百万円(計画)
一研修員受入	316人	--人	28人
一専門家派遣	131人	16人	11人
一単独機材供与	30百万円	21百万円	50百万円(計画)
一青年海外協力隊	95人	84人	77人計画(86人)
一開発調査	5件	--	--
一海外開発計画調査	2件	--	--
一プロジェクト方式技術協力	1件	1件	1件(継続1件)
● 無償資金協力	4,745百万円	450百万円 (2件)	--
● 有償資金協力	5,888百万円 (1件)	-- (1件)	--

(出典：JICA ファクトシート)

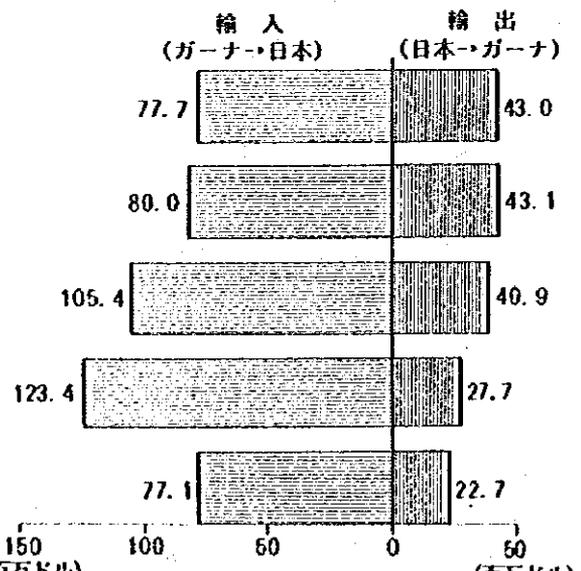
注) 無償資金協力・有償資金協力とも交換公文ベースである。

図 14 我が国の対ガーナ ODA における形態別配分の推移



出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1978, 82, 84

図 15 我が国とガーナの貿易額推移 (単位：百万ドル)



(出典：通商白書 昭和58年版)

図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図
(1981～83年)

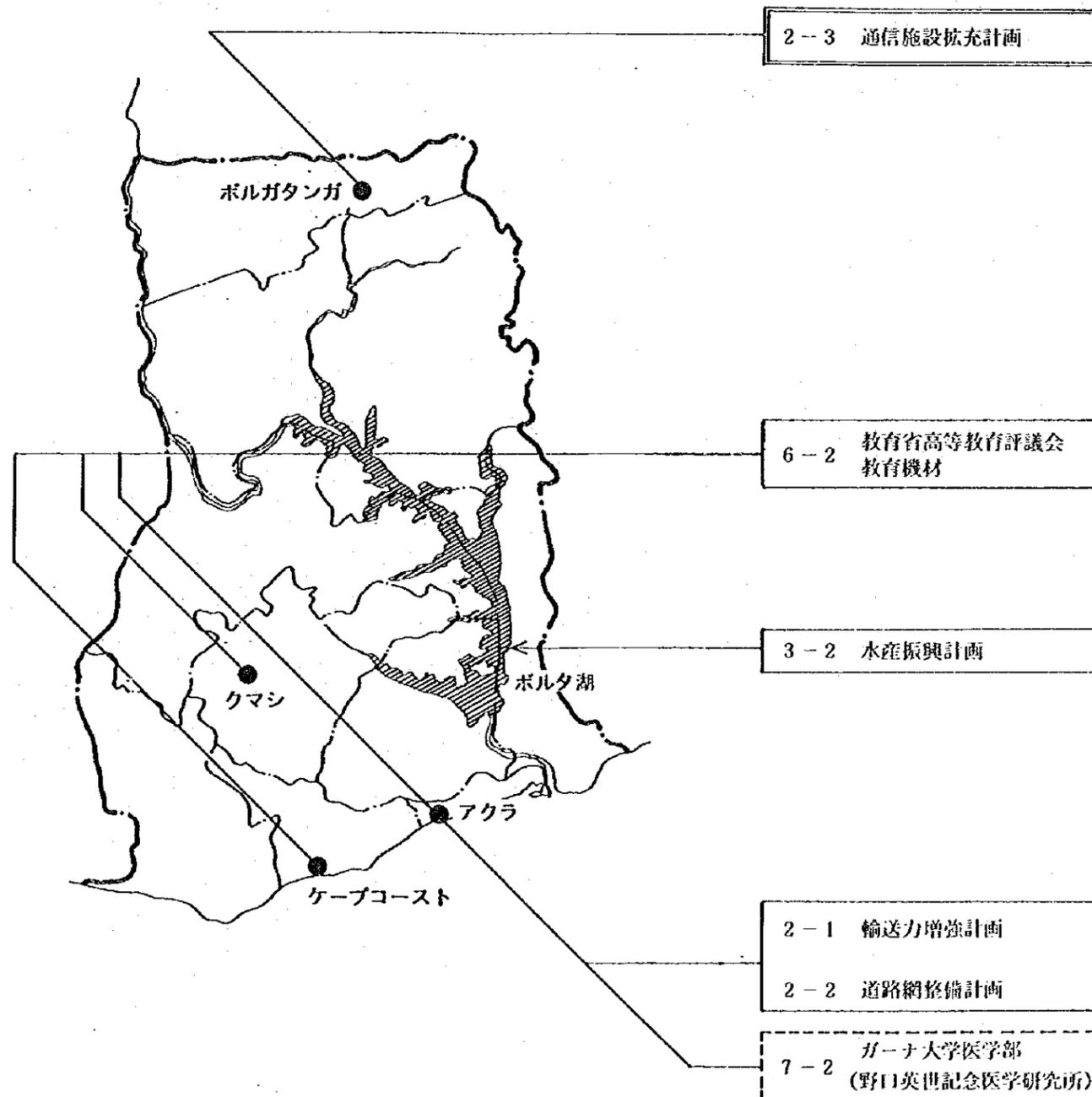
凡 例

- 開発調査
- プロジェクト方式技術協力
- 無償資金協力
- 有償資金協力

注) 各プロジェクトの番号は後述のプロジェクトリストに対応している。

● 広域プロジェクト等

- 3-1 食糧増産援助
- 6-1 教育文化スポーツ省教育機材
- 7-1 地方医療強化計画
- 8-1 緊急援助
- 8-2 KR食糧援助



4-2 分野別経済・技術協力実施状況（表-7）

- 凡 例 1) で案件の実施年度を示し方式を記入した。期間が長期に渡り53～58年度を越える場合 又は で案件の継続を示す。
- 2) 実績欄に示す金額は、各年度毎の実績額とし56, 57, 58年度の実績を集計をした。55年度以前の金額については、() 内に単年度又は累計の金額として示した。

開 調 開発調査
 海 開 海外開発計画調査
 資 開 資源開発基礎調査

無 償 無償資金協力
 (一 般) 一般無償援助
 (水 産) 水産関係援助
 (文 化) 文化関係援助
 (災 害) 災害関係援助
 (食 糧) 食糧援助
 (食 増) 食糧増産援助

プロ技協 プロジェクト方式技術協力
 ・―・で機材供与を示し53～58年度を越え継続する場合<―・―>で示した。又、各年度の派遣専門家の人数を() 内に入れた。

有 償 有償資金協力(政府直接借款)
 ※有償条件の記述は以下の順である。

(金 利 償還期間(据置期間)
 調達条件
 外貨分所要資金) 総所要資金
 内貨分所要資金

E / N 交換公文

1. 計 画・行 政

2. 公 共・公 益 事 業

	プロジェクト名	サイト	年 度					実 績 (千円)	
			53	54	55	56	57		58
2-1	輸送力増強計画 — 農業生産物、食糧、医薬品の輸送力強加のためのトラック供与				(一般)	無償	E/N	56.4.10	200,000
2-2	道路網整備計画 — 経済発展を目的として道路調整備に必要な特殊車両の供与				(一般)	無償	E/N	57.5.6	600,000
2-3	通信施設拡充計画 — 北部地方マイクロウェーブ中継網拡張およびUHF中継回線の建設 条件：3.50兆 30年(10年) LDCアンタンド 外貨5,888百万円 内貨 —	ボルガ タンガ					有償 E/N	57.7.28	5,888,000

3. 農 林・水 産

プロジェクト名	サイト	年 度						実績	(千円) 積
		53	54	55	56	57	58		
3-1 食糧増産援助 — 肥料, 農業機械				(食増)	無償	E/N	56.11.5	400,000	
						(食増)	無償	200,000	
						E/N	58.9.26	600,000	
3-2 水産振興計画 — 船外機, 漁具, 漁網および運搬車両の供与	ボルタ湖					(水産)	無償	420,000	
						E/N	58.8.17		

4. 鉱工業・エネルギー

5. 商 業・観 光

6. 人 的 資 源

6-1 教育文化スポーツ省教育機材 — 物理, 生物用実験計測機材および体育教育機材の供与			(文化)	無償	E/N	56.4.2	30,000
6-2 教育省高等体育評議会教育機材 — ガーナ大学, ケープコースト大学, クマン科学技術大学等に対する理科学機器を中心とした教育機材供与			(文化)	無償	E/N	56.7.9	30,000

7. 保 健 医 療

7-1 地方医療強化計画 — 医療向上を図るための基礎的医薬品, 巡回用小型車両の供与				(一般)	無償	E/N	58.2.4	250,000	
7-2 ガーナ大学医学部 (野口英世記念医学研究所) — ガーナ大学に対する4次の医療協力 第1次「ウィルス学と電子顕微鏡」(43.7-48.12) 第2次「低栄養と感染症」(48.5-51.5) 第3次「病態生理学と免疫学」(51.6-55) 第4次「下痢症および低栄養症」(54-60) 閉調, 無償は野口英世記念研究所建設に関するもの, 第4次協力は同研究所における研究である 協力期間 43.7.4 ~ 60.3.11	ア ク ラ	(51) 閉調	52, 53	(一般)	無償			(2,000,000)	
		43.7					60.3		
				プロ技協					
		43~		機材供与					
				00	(7)	(8)		43~55 (595,039) 56~57 93,827 (専門家 29人)	

8. 社会福祉

	プロジェクト名	サイト	年 度						実績	(千円) 積
			53	54	55	56	57	58		
8-1	緊急援助									
	— ナイジェリアからの追放帰還者流入に対する緊急援助					(災害)	無償			197,600
						E/N	58.3.11			
8-2	KR食糧援助						(食糧)	無償		610,000
	— 日本米						E/N	58.9.26		

9. その他

図表リスト

- 図-1 ガーナの概要 / 2
- 図-2 ガーナの行政区分 / 2
- 図-3 援助主体別ODA推移 / 6
- 図-4 援助形態別ODA推移 / 6
- 図-5 主要援助国・国際機関別ODA推移 / 6
- 図-6 主要援助国・国際機関による対ガーナ政府開発援助 (ODA) の実績 / 7
- 図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴 / 9
- 図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴 / 10
- 図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 13
- 図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図 / 14
- 図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 15
- 図-12 ガーナにおける我が国のODAのシェア / 26
- 図-13 我が国のODA総額に占めるガーナのシェア / 26
- 図-14 我が国の対ガーナODAにおける形態別配分の推移 / 27
- 図-15 我が国とガーナの貿易額推移 / 27
- 図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 28

- 表-1 財政収支 / 4
- 表-2 1981年対ガーナ政府開発援助 (ODA) 実績総括表 / 8
- 表-3 1982年対ガーナ政府開発援助 (ODA) 実績総括表 / 8
- 表-4 主要援助国・国際機関別援助の特徴 / 11・12
- 表-5 主要経済・技術協力プロジェクト概要 / 16
- 表-6 我が国の経済・技術協力実績表 / 27
- 表-7 我が国の経済・技術協力プロジェクトの概要 / 29

参 考 資 料

1. Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries, 1978/82/84; OECD
2. Report on Development Cooperation Ghana for the year 1981; UNDP, Accra
3. 同 上 1982; UNDP, Accra
4. 世界開発報告, 1983; 世界銀行
5. わが外交の近況, 1983; 外務省
6. アフリカ諸国要覧, 1983; 外務省
7. 国際協力ハンドブック, 1983; 国際協力研究会
8. 国際協力事業団年報, 1977~1983; 国際協力事業団
9. 経済協力の現況と問題点, 1982; 通産省
10. 無償資金協力実績要覧; (財)国際協力推進協会 (1984, 2月)
11. 案件概要 (I) 政府等貸付, 昭和58年7月末現在; 海外経済協力基金
12. アフリカでのくらしーガーナ; (財)国際協力サービスセンター

① 分野区分対照表

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
1.	<p>計画・行政</p> <p>開発計画 行政</p>	<p>02 - General development issues, policy and planning</p> <p>Development strategies policies and planning General statistics Public administration</p>
2.	<p>公共・公益事業</p> <p>公益事業 運輸交通 社会基盤 通信・放送</p>	<p>06 - Transport and Communications</p> <p>Policy and planning Air transport Land transport Water transport and shipping Postal services Telecommunications</p> <p>09 - Human settlements</p> <p>Settlements planning Housing and infrastructure</p>
3.	<p>農林・水産</p> <p>農業 畜産 林業 水産</p>	<p>04 - Agriculture, forestry and fisheries</p> <p>Agricultural development support service Crops Livestock Fisheries Forestry</p>
4.	<p>鉱工業</p> <p>工業 鉱業 エネルギー</p>	<p>03 - Natural resources</p> <p>Cartography Land and water Mineral resources Biological resources Energy</p> <p>05 - Industry</p> <p>Industrial development support services Manufacturing industries Tourism and related services Other service industries</p>
5.	<p>商業・観光</p> <p>商業・貿易 観光</p>	<p>07 - International trade and development finance</p> <p>Global trade policies Trade in commodities Trade in manufactures Trade promotion and trade in services Development finance and monetary problems</p>

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
6.	人的資源 人的資源 科学・文化	11 - Education Educational policy and planning Educational facilities and technology Educational systems Non-formal education 15 - Culture Cultural preservations and development Protection of authors and performers Communication and mass media 16 - Science and technology Promotion of science Development and transfer of technology Oceanography Meteorology
7.	保健・医療	08 - Population Population dynamics Family planning 10 - Health Comprehensive health services Disease prevention and control Environmental health
8.	社会福祉	12 - Employment Employment promotion and planning Skills development Conditions of employment Industrial relations 13 - Humanitarian aid and relief Protection of and assistance to refugees and displaced persons Disaster, relief preparedness and prevention Special humanitarian operation 14 - Social conditions and equity Human rights Social sciences Welfare and social security Advancement of women Disadvantaged groups Prevention of crime and drug abuse
9.	その他	01 - Political affairs Political and security activities Special missions Disarmament General international law Trusteeship, decolonization and apartheid

○ガーナ共和国

JICA